

# 第2次加須市スポーツ・ レクリエーション推進計画

みんなでスポーツ、元気な加須市  
～スポーツの力で市民も加須市も元気なまちづくり～

(令和3年度～令和7年度)



令和3年2月

加須市教育委員会



## ごあいさつ

本市は、スポーツを通じた若者が集うまちづくりを進めており、「クライミングのまち」や「女子野球の聖地」として定着してきています。

特に女子野球では、令和2年度から埼玉西武ライオンズ・レディースが加須市を拠点に活動を始めるとともに、全日本女子野球連盟から「女子野球タウン」として認定されるなど、真に「女子野球の聖地」になったものと存じます。

また、令和2年3月には市民が一体となりスポーツを通じた新しい人の流れをつくり、活力と魅力あるまちづくりの実現を目指して、「スポーツ元気都市」宣言を行いました。

このたび、スポーツを核とした健康・生きがいつくりや地域活性化をさらに進めるため、「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」を策定しました。

「みんなでスポーツ、元気な加須市 ～スポーツの力で市民も加須市も元気なまちづくり～」を基本理念として取り組んでまいります。

計画策定にご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、本計画の推進に市民の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

加須市長 大橋 良一



スポーツは、心身の健全な発達や健康の保持増進、体力の向上を図るとともに人や地域の交流を促し、地域の一体感や活力を醸成する大きな力を持っており、スポーツの果たす役割への期待は一層高まっています。

これらスポーツの持つ力を活かして、女子硬式野球、スポーツクライミング、マラソン、駅伝、トライアスロン、自転車など様々な全国規模の大会を誘致・開催することにより、市民のスポーツの関心を高めるとともに、全国から多くの選手や観戦者などが訪れ新たな賑わいや交流などが生まれています。

引き続き、全ての市民の健康・生きがいつくりを推進するとともに、スポーツを通じた新しい人の流れをつくり活力と魅力あるまちづくりを実現するため、「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」を策定しました。

計画名は、競技スポーツだけではなく身体活動までの幅広い計画であることをご理解いただけるよう「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」といたしました。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な関り方を通して、市民も加須市も元気なまちづくりの実現に向け、市民の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

加須市教育委員会教育長 渡邊 義昭





# 目 次

第1章 計画の策定にあたって.....	1
1 計画策定の背景及び趣旨.....	1
2 計画の位置付け.....	2
3 計画期間.....	2
4 計画におけるスポーツの考え方.....	3
5 スポーツを通じた社会的課題の解決への期待.....	3
第2章 加須市におけるスポーツの現状及び課題.....	4
1 加須市の状況.....	4
2 加須市スポーツ推進計画（平成24年度～令和2年度）の達成状況.....	9
3 アンケート調査結果からみえる状況.....	15
4 加須市のスポーツ推進に向けた課題.....	27
第3章 基本的な考え方.....	30
1 基本理念.....	30
2 基本目標.....	31
第4章 基本目標の実現に向けた施策.....	32
1 施策の体系.....	32
2 基本目標の実現に向けた施策.....	33
基本目標1 スポーツを楽しむ元気な市民 ～スポーツ参画人口の拡大～.....	33
施策1 ライフステージに応じたスポーツの推進.....	33
施策2 だれもが楽しめるスポーツの推進.....	37
施策3 スポーツ人材の充実.....	39
施策4 スポーツに親しめる場の充実.....	41
基本目標2 スポーツで元気な加須市 ～スポーツを核とした交流人口の拡大～.....	44
施策1 女子野球の推進.....	44
施策2 スポーツクライミングの推進.....	45
施策3 自転車の推進.....	46
施策4 全国大会等の支援.....	47
第5章 計画の推進.....	49
1 計画の推進体制.....	49
2 計画の進行管理及び見直し.....	49

資料編	51
1 第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画策定の経過	52
2 加須市スポーツ推進審議会	53
(1) 加須市スポーツ推進審議会条例	53
(2) 加須市スポーツ推進審議会委員名簿	55

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1 計画策定の背景及び趣旨

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、自律心その他の精神を養い育てるなど、心身ともに健康で文化的な生活を営む上で重要な役割を果たします。

また、人と人との交流や地域間の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に欠かすことのできないものです。

このため、日常生活においてスポーツに親しむことにより、生涯にわたりスポーツを楽しみながら健康増進を図るとともに、スポーツを通して豊かな人生を送ることのできる人を増やしていくことが重要です。

本市では、平成24年3月に「加須市スポーツ推進計画」（平成24年度から令和2年度）（以下「第1次計画」という。）を策定し、5年が経過した平成29年10月に第1次計画の内容を見直し、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを“元気に行く”“楽しく学ぶ”“すすんで支える”」を基本理念として、スポーツの振興を図ってきました。

平成30年3月に加須きずなスタジアム（加須市民運動公園野球場）がリニューアルオープンするとともに、令和元年12月には加須スケートパークがオープンするなどスポーツ施設が充実してきています。

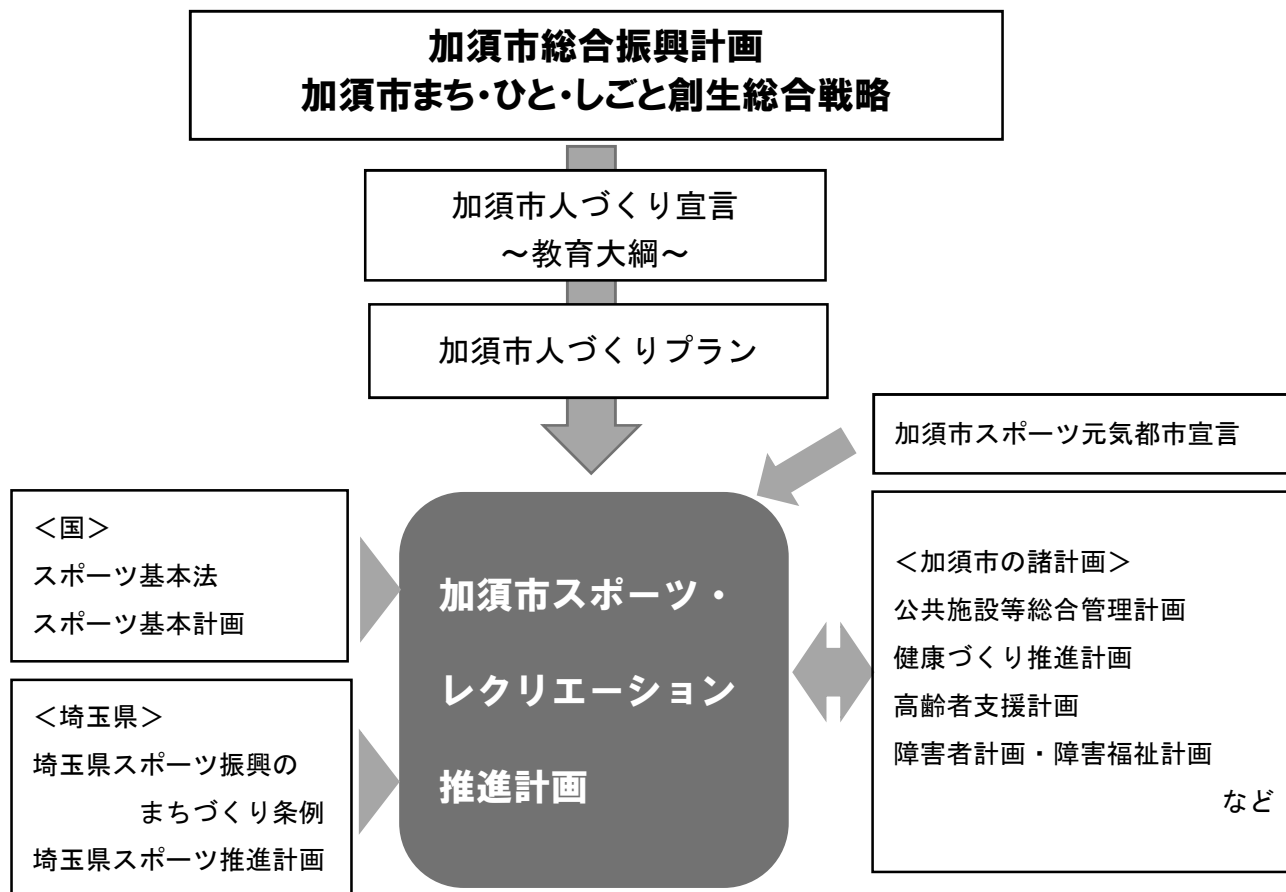
このような中、令和2年3月には、加須市民が一体となりスポーツを通じた新しい人の流れをつくり、活力と魅力あるまちづくりの実現を目指して、「加須市スポーツ元気都市宣言」を行いました。

令和2年7月には埼玉西武ライオンズ・レディースが加須市を拠点に活動を開始するとともに、令和2年11月には全日本女子野球連盟から「女子野球タウン」に認定されました。

第1次計画が、令和2年度に計画期間の最終年度を迎えることから、これまでの取り組みの成果と課題、本市を取り巻く社会経済状況の変化、国・県の動向などを踏まえるとともに、心身の健全な発達、明るく豊かな生活の形成、活力あるまちの実現に向け、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「第2次加須市総合振興計画」と整合性を図りつつ、「第2次加須市人づくりプラン」をはじめ他部門計画と連携を図り、新たな「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」（以下「本計画」という。）を策定するものです。

## 2 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項に定める「地方スポーツ推進計画」として本市の実情に即したスポーツ推進に関する計画を策定するもので、「加須市総合振興計画」のスポーツ振興に係る部門計画です。



## 3 計画期間

令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5か年を本計画の計画期間とします。

計画名／年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
国 第2期スポーツ基本計画	計画期間	平成29(2017)	～令和3(2021)年度		
埼玉県スポーツ推進計画（第2期）	計画期間	平成30(2018)	～令和4(2022)年度		
第2次加須市総合振興計画（前期基本計画）	計画期間(令和3(2021)～令和7(2025)年度)				
第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画	計画期間(令和3(2021)～令和7(2025)年度)				



## 4 計画におけるスポーツの考え方

スポーツ基本法では、スポーツの定義を「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」としています。

しかし、スポーツから連想されるイメージは、野球やサッカーといったスポーツ施設などでルールにのっとり他者と競い合う競技と捉え、ウォーキングやラジオ体操など気分転換やストレス解消のためのレクリエーションまでは含まれていないと考える方もいます。

このため、本計画では、競技スポーツだけではなく身体活動などのレクリエーション活動までを幅広く捉えた計画であることを市民に分かりやすく伝えるため、計画名を「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」としました。

なお、以降の本計画における「スポーツ」とは、競技スポーツからレクリエーション活動までを指します。

## 5 スポーツを通じた社会的課題の解決への期待

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養、青少年の健全育成等の重要な役割を果たします。

さらに、スポーツにより人と人との交流及び地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成することができます。

これらスポーツの持つ力を最大限に活用し、健康・生きがいづくりへの感心の高まり、地域のつながりの希薄化、グローバル化といった社会的課題の解決への貢献も期待されています。

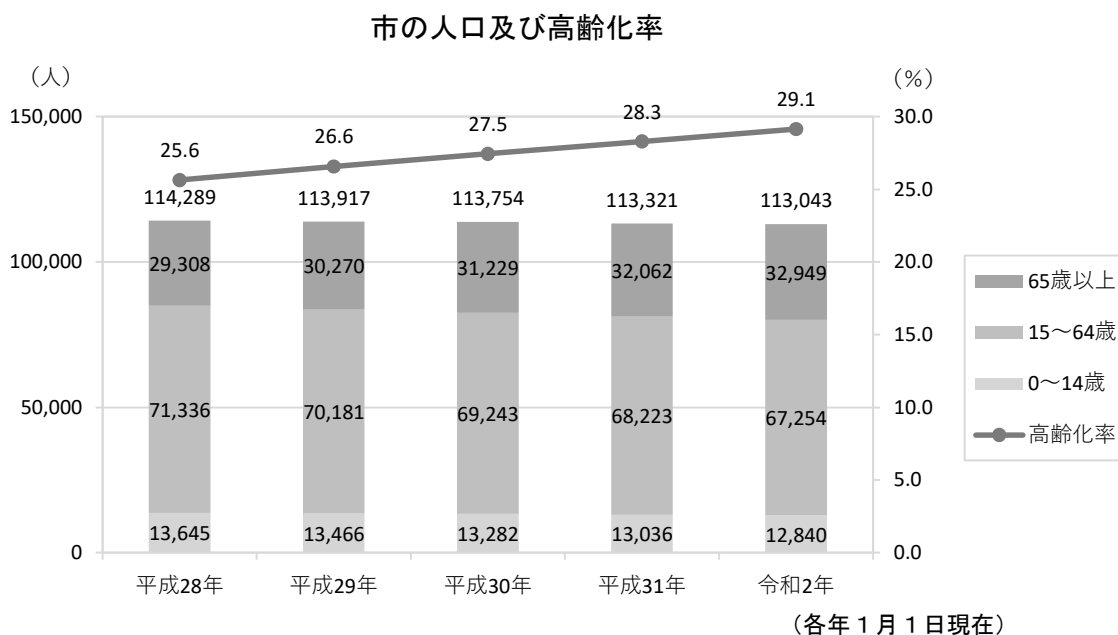
## 第2章 加須市におけるスポーツの現状及び課題

### 1 加須市の状況

#### (1) 市の人口等

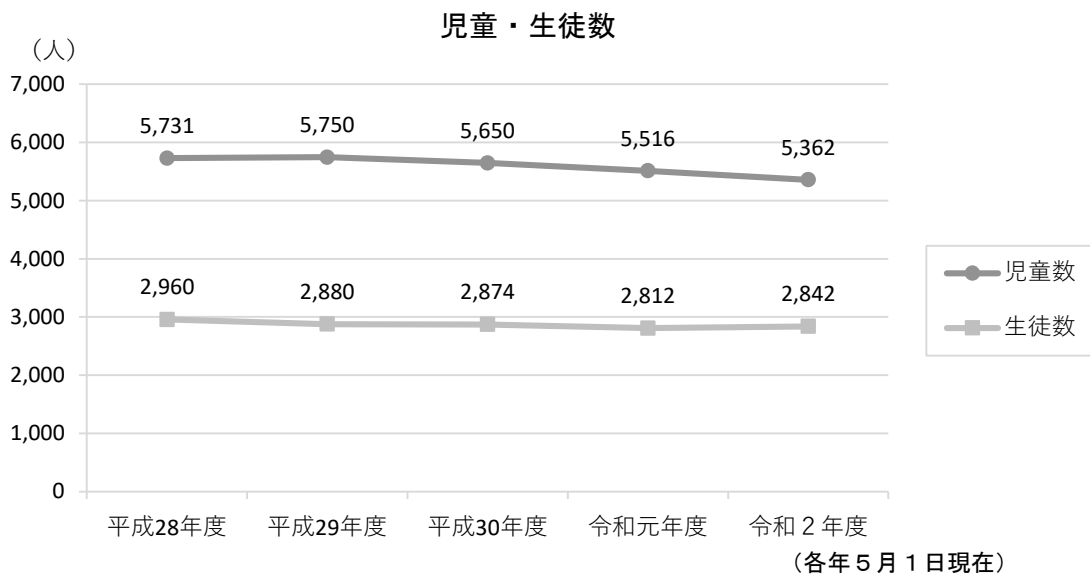
##### ① 人口及び高齢化率

本市の人口は緩やかな減少傾向にあり、令和2年1月1日現在113,043人となっています。年齢3区分別に見ると、0～14歳、15～64歳の人口が減少傾向にある一方で、65歳以上の人口は増加傾向にあります。



##### ② 児童・生徒数の人口

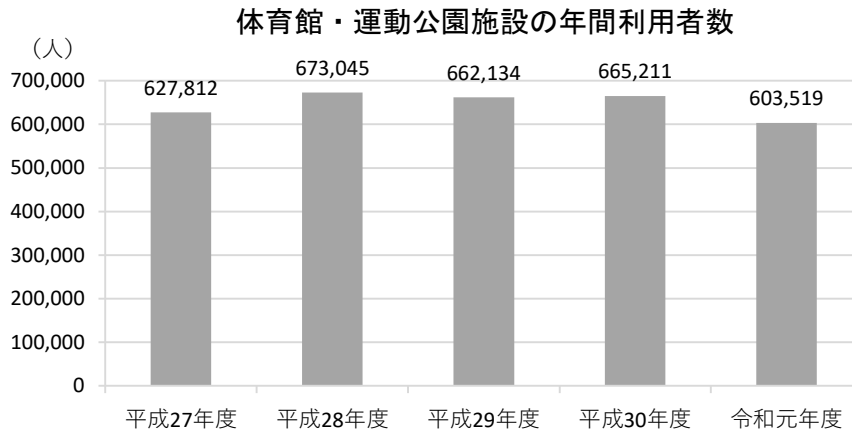
児童・生徒数はどちらも減少傾向にあり、令和2年度の児童数は5,362人、生徒数は2,842人となっています。



## (2) スポーツ施設

### ① 公共スポーツ施設

本市の公共スポーツ施設は、5つの体育館、野球場やテニスコートなどが併設されている運動公園、ソフトボールやグラウンド・ゴルフ、サッカーなどを行う15の公園や広場があり、年間60万人以上の市民が利用しています。



※令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年3月は一部利用を制限。

主な施設として、加須市民体育館には、全国で唯一の屋内4面クライミングウォールがあります。これまでに3回のワールドカップをはじめ様々な大会が開催されており、平成22年度からは全国高等学校選抜クライミング選手権大会が開催されています。

ふじアリーナ（騎西総合体育館）は、バレーボールに適した天井が高いメインアリーナがあり、Vリーグなども開催されています。また、各種トレーニングマシンを備えたトレーニング室があります。

大利根文化体育館にはボクシングリングがあり、「国民体育大会県予選会」や「全国高校総体埼玉県予選会」が開催されています。

加須きずなスタジアム（加須市民運動公園野球場）は、女性の利用に配慮したトイレを設置するとともに、管理棟やダッグアウト等の改築、選手名ボードやスピードガンの新設、防球ネットの嵩上げなど再整備を行い、平成30年3月にリニューアルオープンしました。

埼玉県企業局が整備した加須IC東産業団地内には、令和元年12月に「加須スケートパーク」がオープンし、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の正式種目となったスケートボードやローラースケートができる「スケートボードエリア」のほか、壁打テニス、バスケットボール（3on3）、グラウンド・ゴルフなどのできる人工芝の多目的広場があります。



加須きずなスタジアム（加須市民運動公園野球場）

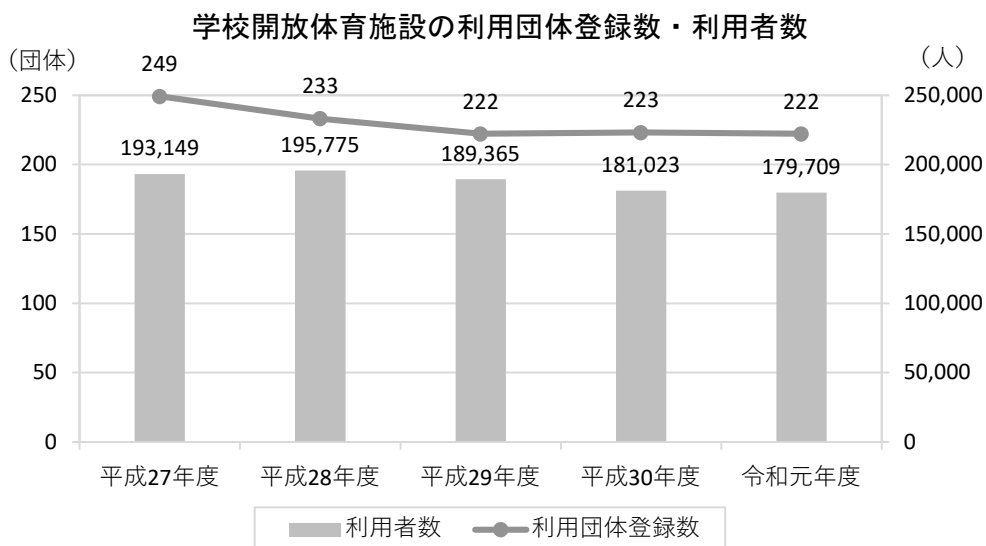


加須スケートパーク

## ② 学校開放施設

市内の小・中学校のうち、22の小学校と1つの中学校が体育館と校庭（うち、夜間照明施設設置11校）を、4つの中学校が体育館を一般市民のスポーツ活動の場として市民に開放しています。

学校開放体育施設の利用団体登録数・利用者数は、令和元年度の利用団体登録数は222団体、利用者数は179,709人となっています。



※平成30年度は小・中学校体育館の非構造部材の耐震対策化工事、令和元年度は小・中学校エアコン設置工事を実施。令和2年3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一部利用を制限。

## ③ 国・県・スポーツ団体の管理する施設

埼玉県利根地域のレクリエーションの核である県営加須はなさき公園は、7つのプールのほか、自然観察園や芝生広場、自然ボート、マス釣り、貸し自転車など四季を通じて楽しめます。

旧県立騎西高等学校の跡地は、平成31年3月に公益財団法人埼玉県サッカー協会が管理・運営を行う「彩の国KAZOヴィレッジ（SFAフットボールセンター）」として生まれ変わり、多くのサッカー愛好者が集う施設となっています。

サイクリングやウォーキングで人気の利根川河川敷では、舗装された直線道路の工事用道路を利用した自転車競技大会を開催しています。

栃木県・群馬県・茨城県と隣接する雄大な渡良瀬遊水地には、貯水池の谷中湖やその周辺にはサイクリングやランニングに最適なコースがあり、トライアスロン大会を開催しています。



県営加須はなさき公園



彩の国KAZOヴィレッジ

#### ④ 民間施設

市内には、フィットネスジム、温水プール、バッティングセンター、フットサル場、ゴルフ練習場、ボウリング場などの民間スポーツ施設が多数あり、多くの市民が利用しています。

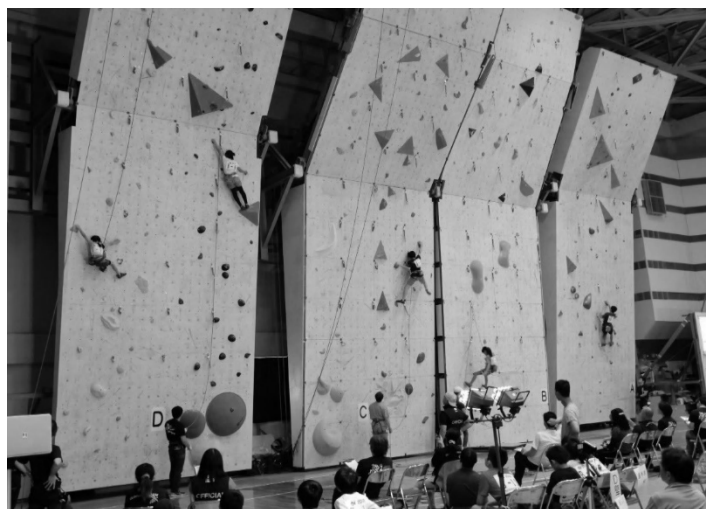
このようにスポーツの分野でも、民間スポーツ施設の果たす役割は欠かせないものとなっています。

#### (3) 全国大会等

女子硬式野球では、加須きずなスタジアム（加須市民運動公園野球場）を中心として、全国高等学校女子硬式野球選抜大会などを開催し、「女子野球の聖地」として定着しています。

スポーツクライミングでは、加須市民体育館のクライミングウォールなどを活用し、全国高等学校選抜クライミング選手権大会やリードKAZOクライミングカップなどを開催し、「クライミングのまち」として知られています。

このほかにもトライアスロン、自転車競技などの全国規模の大会を数多く誘致しており、選手や観客など多くの若者が訪れています。



リードKAZOクライミングカップ

#### (4) 新たな取り組み

##### ① 女子野球

令和2年7月に加須市と「埼玉西武ライオンズ・レディース」の運営法人である「一般社団法人埼玉レディースベースボール」との連携協定を締結し、埼玉西武ライオンズ・レディースが加須市を拠点として活動しています。

また、令和2年11月には「女子野球タウン」として全日本女子野球連盟に認定され、連携協定を締結し、女子野球等の普及振興と地域活性化を進めています。



加須市と一般社団法人埼玉レディースベースボールとの連携協定締結式

##### ② 自転車

本市は関東のどまんなか位置し、平坦な土地がサイクリングに適しており、市内には日本一長い利根川自転車道が横断し、また、サイクリングのメッカである「渡良瀬遊水地」を有し、利根川をはじめ市内を流れる河川の恵みが生んだ自然や文化等の地域資源を有していることから、「観光サイクリング」のブランド化を推進し、サイクリング適地の認知度を高め、通年で訪れることのできるサイクリングによる交流人口の拡大を図るため事業を実施しています。

##### ③ ローラースポーツ

新たにオープンした「加須スケートパーク」では、東京2020大会の正式種目となったスケートボードなどが行われ、県外からも多くの方が訪れています。

また、新たに設立された市内のスケートボード団体により、令和2年8月から初心者向けスケートボードスクールや練習会が定期的開催されています。

## 2 加須市スポーツ推進計画（平成24年度～令和2年度）の達成状況

### (1) 全体の達成状況

平成24年度から始まった第1次計画は、計画策定から5年が経過した平成28年度に内容の見直しを行い、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを“元気に行う”“楽しく学ぶ”“すすんで支える”」を基本理念としてスポーツを推進してきました。

令和元年度における達成率は、数値目標18件に対して12件（66.7%）が「目標を達成」「概ね達成」。また、取組内容69件に対して45件（65.2%）が「目標を達成」「概ね達成」となりました。

なお、最終年度（令和2年度）においては、新型コロナウイルス感染症によって、多くのスポーツ事業が中止や規模縮小などの対策を講じており、成果の達成率は大幅に減少することが見込まれます。

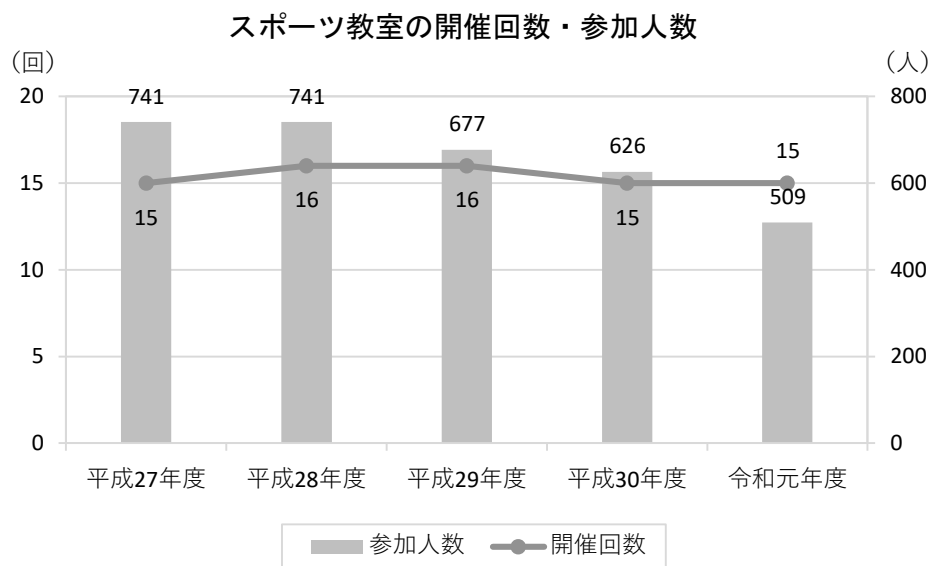
### (2) 施策に基づく数値目標の達成状況

#### ① 施策 スポーツの推進

##### 【スポーツ教室開催回数及び参加人数】

目標値「21回開催」「900人参加」に対して、過去5年間は天候などにより開催できない教室があったため目標を下回っています。

このため、スポーツ教室の競技種目、募集方法・時期などの見直しが課題となっています。



### 【ニュースポーツ大会の開催回数】

目標値「13回」に対して、平成29・30年度は目標値を超えるニュースポーツ大会が関係団体やスポーツ推進委員協議会により開催されましたが、令和元年度は参加者が集まらないことや新型コロナウイルス感染症により開催中止とした大会もあったため、目標値を下回っています。

今後、さらにニュースポーツに関心を持ってもらえるよう継続的な大会の開催や広報の充実などが課題となっています。

### 【成人者の週1回以上スポーツ（運動）をする人の割合】

目標値「65%」に対して、平成27年度のアンケート調査では47.9%でしたが、令和元年度のアンケート調査では34.1%と大幅に低下しています。

このため、競技スポーツだけではなく身体活動を含め幅広くスポーツを推進するとともに、引き続き全国規模の大会などの誘致・開催によるスポーツへの関心を高め、定期的なスポーツの実施につなげることが課題となっています。

### 【スポーツ少年団に入っている子どもの割合】

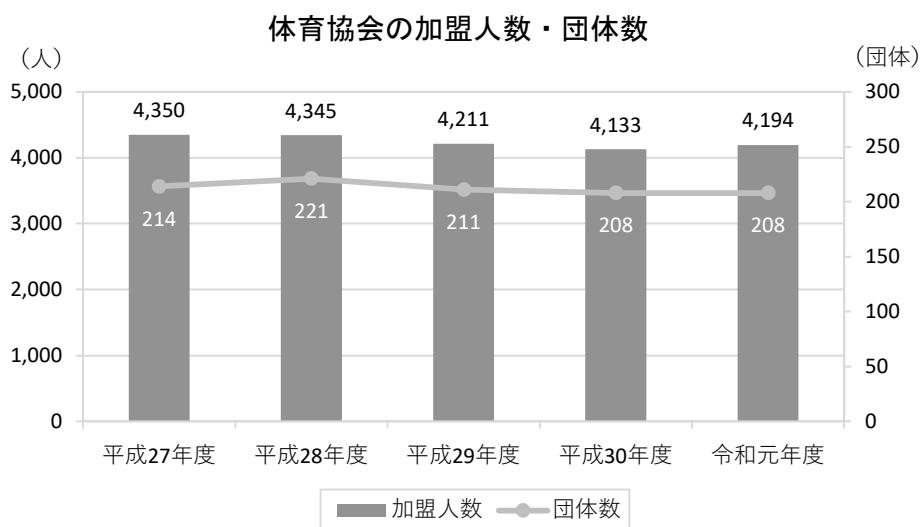
目標値「20%」に対して、令和元年度では11.1%と目標を大きく下回っています。

総合型地域スポーツクラブや民間のスポーツ教室との競合、子どものスポーツ離れや遊びの多様化などによって、一層の組織運営の工夫などが課題となっています。

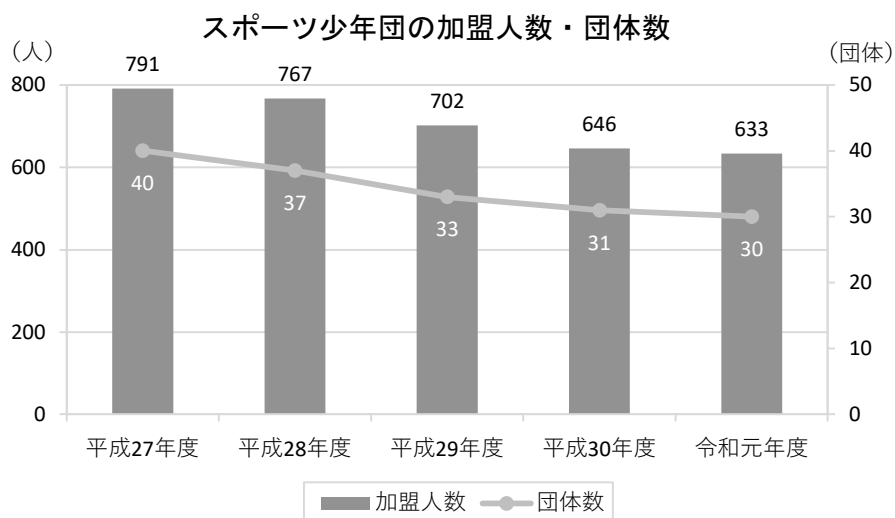
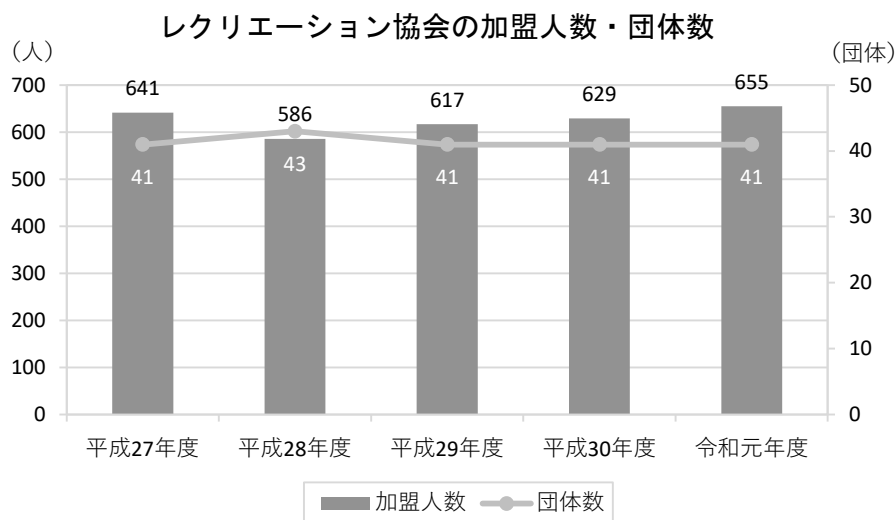
### 【スポーツ・レクリエーション団体の加盟団体数及び加盟人数】

加須市スポーツ協会（令和2年度に「加須市体育協会」から改称。）は208団体、レクリエーション協会は41団体、スポーツ少年団は30団体が加盟し、様々なスポーツやレクリエーション活動が行われていますが、加盟人数や加盟団体数は減少傾向にあります。

これらの団体に加盟せずに独自に活動している人も多く、これらの団体への加盟や団体活動の充実が課題となっています。



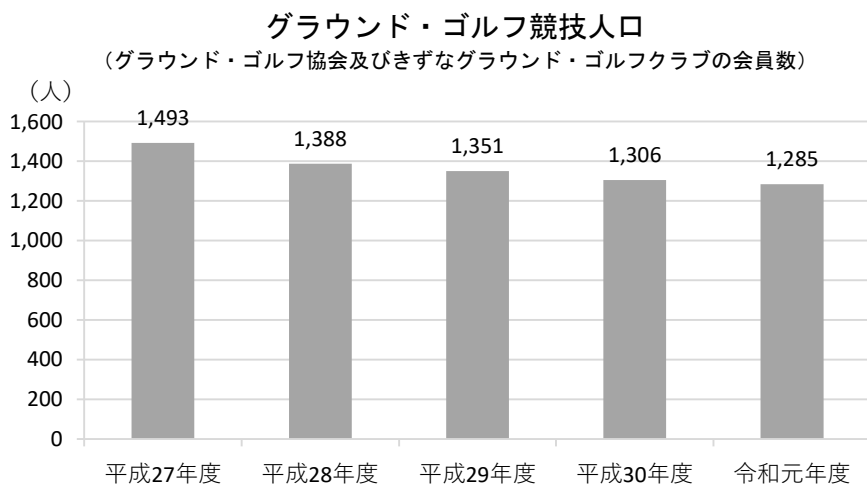




#### 【グラウンド・ゴルフ競技人口】

グラウンド・ゴルフは高齢者を中心に多くの市民が行っていますが、グラウンド・ゴルフ協会やきずなグラウンド・ゴルフクラブの会員数は年々減少傾向にあり、目標値の「1,600人」には達していない状況です。グラウンド・ゴルフはどこでもできる手軽さや、長寿化が進んでいることなどから、グラウンド・ゴルフ協会などの団体に加盟せずに地域や自治会など近所で楽しむ市民もいます。

このため、団体に加盟していない市民が参加できる大会の開催とともにグラウンド・ゴルフ協会などへの加盟が課題となっています。



### 【グラウンド・ゴルフの大会開催数】

グラウンド・ゴルフ協会、スポーツ協会、レクリエーション協会主催のグラウンド・ゴルフ大会は、目標値「75回」に対して令和元年度は「56回」と目標を下回っています。

近年では自治会や老人クラブ連合会などでも数多くの大会が開催されています。このほかにも県・全国の大会なども数多く開催されています。

このため、より多くの市民が参加できる大会の開催が課題です。

### 【市民体育祭（地域・地区体育祭）の参加人数】

市民体育祭は各地域・地区スポーツ協会で計画され開催されています。天候に大きな影響を受けるため全ての体育祭が開催できない年もあり目標値を下回っています。

### 【ウォーキング大会（市、地域・地区スポーツ協会）開催数及び参加人数】

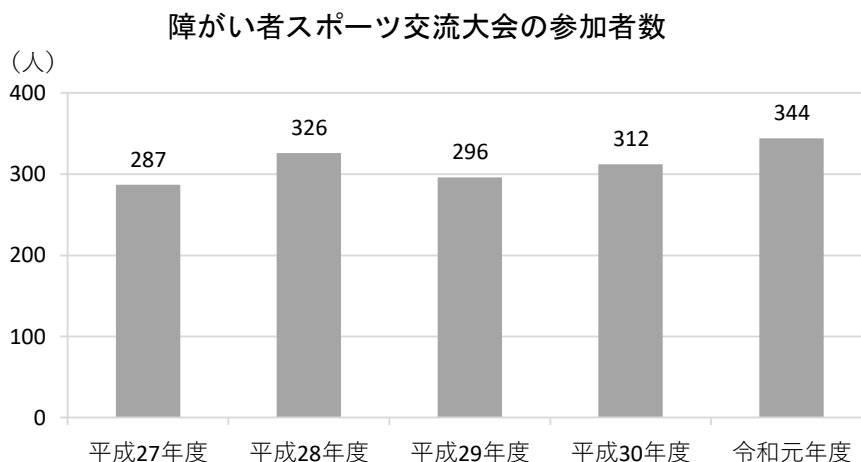
ウォーキング大会は市のほか、地域・地区スポーツ協会などが開催しています。天候に左右されるため開催回数は目標値を下回っているものの、参加人数は概ね目標を達しているため順調に推移しています。

### 【体力年齢若返り】

筋トレ健康診査による運動負荷判断を行い運動が可能な方を対象に測定を実施した結果、体力年齢が17歳若返った方もいましたが、若返りがみられなかった方もいたため、平均すると目標値を下回っています。

### 【障がい者スポーツ交流大会の参加者数】

障がい者（児）や介護者等が、障害の種類に関わりなくスポーツを通して交流を深めるとともに、健康の増進、体力の維持向上や社会参加の推進を図るため、障がい者スポーツ交流大会を開催しています。参加者数は増加傾向にあり目標値である300人を達成している状況です。



## ② 施策 総合型地域スポーツクラブの推進

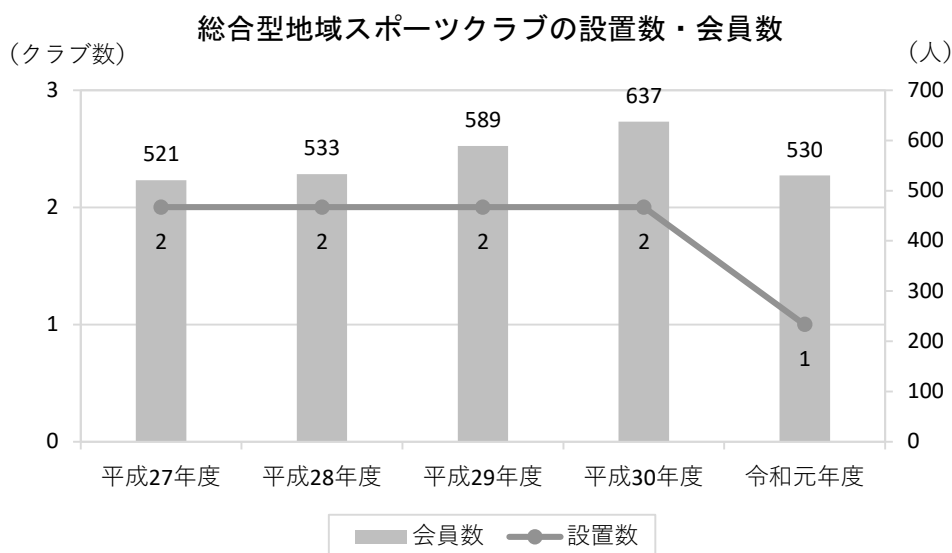
### 【総合型地域スポーツクラブの設置数・会員数】

市内にはこれまで、「不動岡スポーツクラブ」「みずわスポーツクラブ」「FC（フットボールクラブ）KAZO」の3つの総合型地域スポーツクラブがありましたが、「不動岡スポーツクラブ」は平成26年3月に解散、「みずわスポーツクラブ」は平成31年3月に解散しており、現在は「FC（フットボールクラブ）KAZO」の1つとなっており、クラブ設置数及び会員数は目標値を下回っています。

現在活動している「FC（フットボールクラブ）KAZO」では、サッカーを中心に活発な活動を行っており、会員数は増加傾向にあります。

現在、平成国際大学を中心に新たなクラブの設立に向けて検討が進められており、先行して平成30年度からサッカー教室を開催するなど活動を一部開始しています。

目標値である「3クラブ」から大幅に後退しており、平成国際大学をはじめとする新たな総合型地域スポーツクラブの設置が課題です。



## ③ 施策 スポーツを通じた若者が集う地域づくり

### 【クライミングウォール利用認定者数】

利用認定者数は毎年確実に増え、目標値である400人を大幅に超える市民が取得しています。スポーツクライミングを加須市に定着させるため、引き続き認定者数の増加が課題です。

### 【加須こいのぼりマラソン大会参加者数及び市民の参加者数】

平成30年度にハーフコースの変更、令和元年度に参加者の安全確保による年齢制限などを行ったことにより、参加者数が減少しましたが、沿道応援の充実により減少幅を最小限にできている状況です。

引き続き、全国から多くの人に参加できるような魅力ある大会とすることが課題となっています。

### **【加須ふじの里駅伝大会への参加チーム数及び参加者数】**

毎年定員以上の参加申し込みがあり、目標値である「250チーム」「1,700人」を上回っています。

引き続き参加者の安全などに配慮した大会運営を進めることが課題となっています。

### **【全国大会等の誘致数・参加選手数】**

令和元年度は台風や新型コロナウイルス感染症の影響により大会が中止になったため目標を下回っていますが、その他の年ではほぼ目標を達しています。

引き続き全国規模の大会等の誘致や継続的な開催に努めることが課題となっています。

### 3 アンケート調査結果からみえる状況

#### (1) アンケート調査の概要

##### ① 調査の目的

本計画の策定にあたり、市民ニーズに即した計画とするため、その基礎資料として本市のスポーツの現状や課題などを明確にすることを目的として、令和元年度にアンケート調査を実施しました。

##### ② 調査実施状況

	市民 (18歳以上)	障がい者手帳 をお持ちの方	小学生	中学生	高校生	スポーツ団体 等
調査対象	18歳以上の 市内居住者	18歳以上の 障がい者手帳 をお持ちの方	市内小学校に 通学する小学 5年生	市内中学校に 通学する中学 2年生	市内高校に通 学する高校 1・2年生	市体育協会・ 市レクリエー ション協会・ 市スポーツ 少年団
抽出方法	住民基本台帳 から無作為抽 出	障がい者手帳を お持ちの方から 無作為抽出	市内全校から 1クラス	市内全校から 1クラス	施設利用の多 い市内の県立 高校	団体代表者
調査方法	郵送配布・ 郵送回収	郵送配布・ 郵送回収	学校を通じて 配布回収	学校を通じて 配布回収	学校を通じて 配布回収	郵送配布・ 郵送回収
調査時期	令和元年11月7日～11月30日					
配布数	1,000件	50件	605件	263件	70件	302件
回収数	352件	28件	605件	263件	70件	194件
回収率	35.2%	56.0%	100.0%	100.0%	100.0%	64.2%

## (2) 市民（18歳以上）

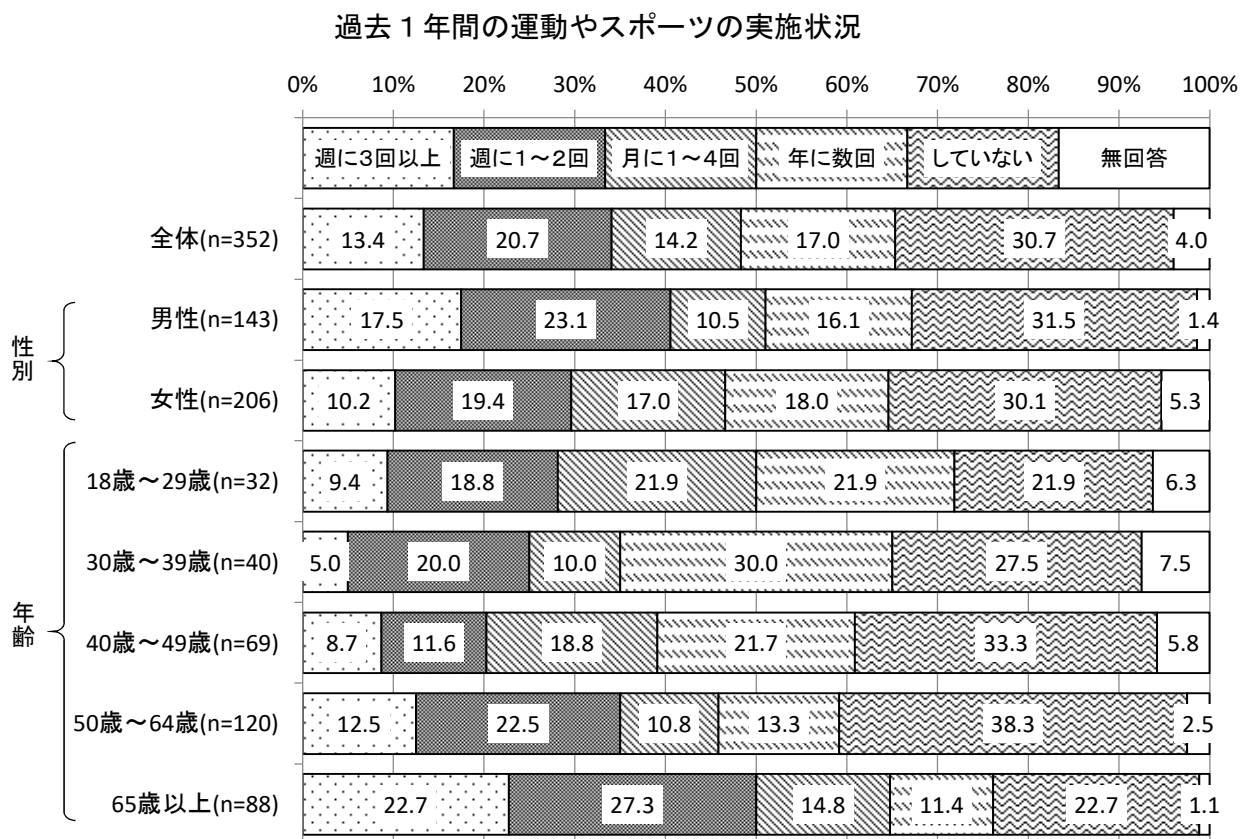
### ■過去1年間の運動やスポーツの実施状況

過去1年間の運動やスポーツを週1回以上した割合は、全体では34.1%となっています。一方、「していない」は30.7%となっています。

性別にみると、男性の40.6%、女性の29.6%が週1回以上スポーツをしています。

年齢別にみると、40歳代が20.3%で最も少なく、65歳以上が50.0%で最も多くなっています。

このため、それぞれの適性や関心、ライフステージに応じてスポーツに取り組むことのできる機会の充実や情報発信が求められます。

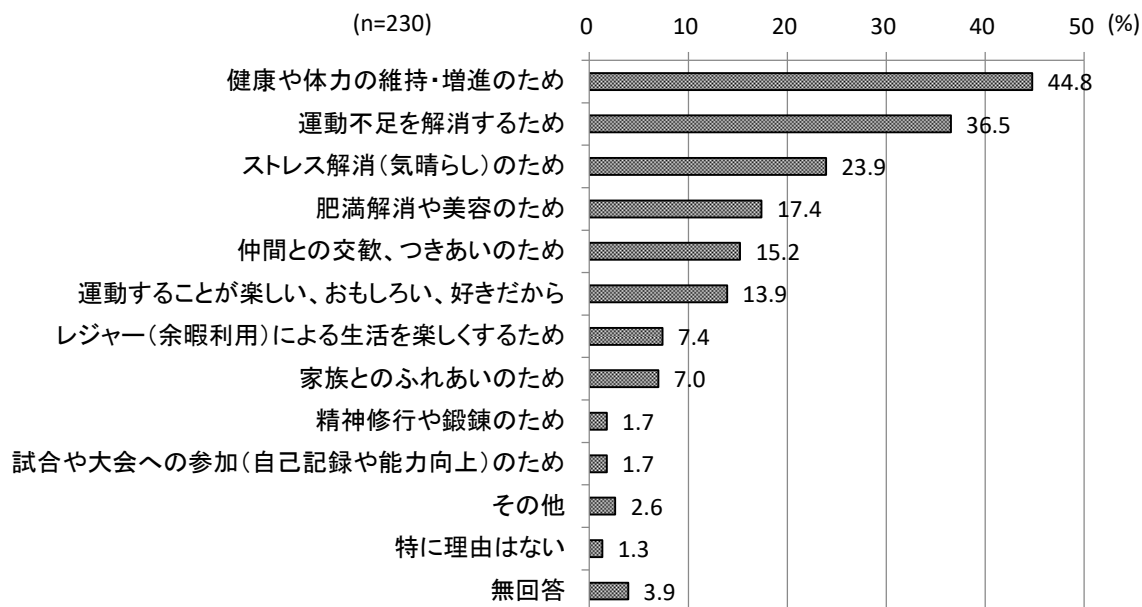


## ■運動やスポーツをする理由

「健康や体力の維持・増進のため」が44.8%で最も多く、次いで「運動不足を解消するため」が36.5%、「ストレス解消（気晴らし）のため」が23.9%となっています。

このため、競技スポーツだけではなく、健康づくりや運動不足の解消などの身体活動のできる機会の充実が求められます。

運動やスポーツをする理由

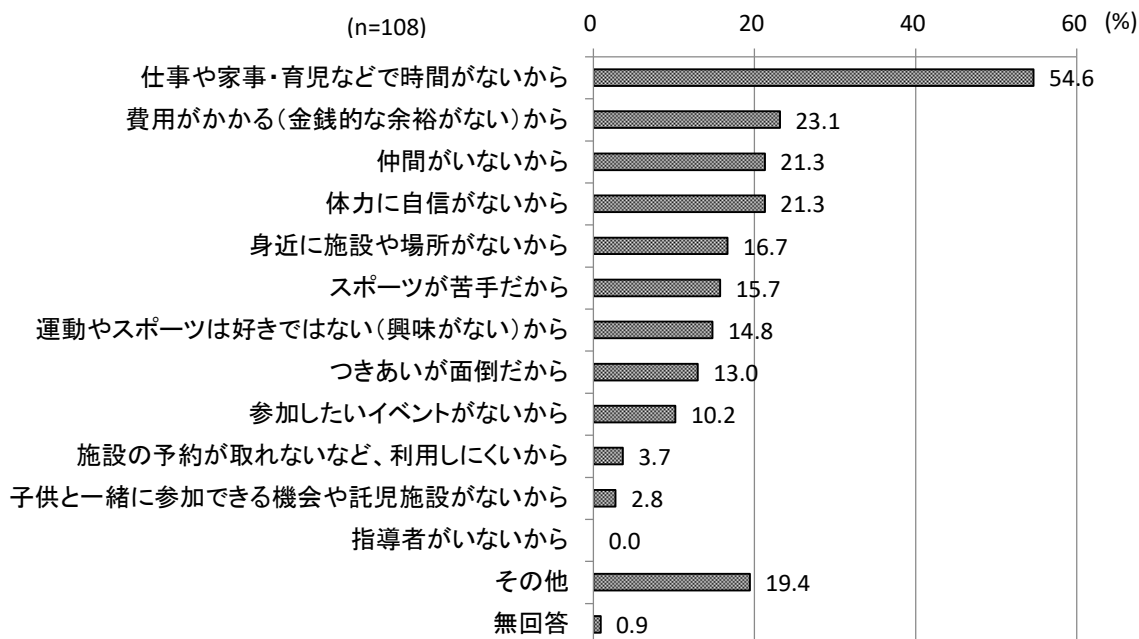


## ■運動やスポーツをしていない理由

「仕事や家事・育児などで時間がないから」が54.6%で最も多くなっています。

このため、自宅や一人でも気軽にできる運動やスポーツの情報発信が求められています。

運動やスポーツをしていない理由



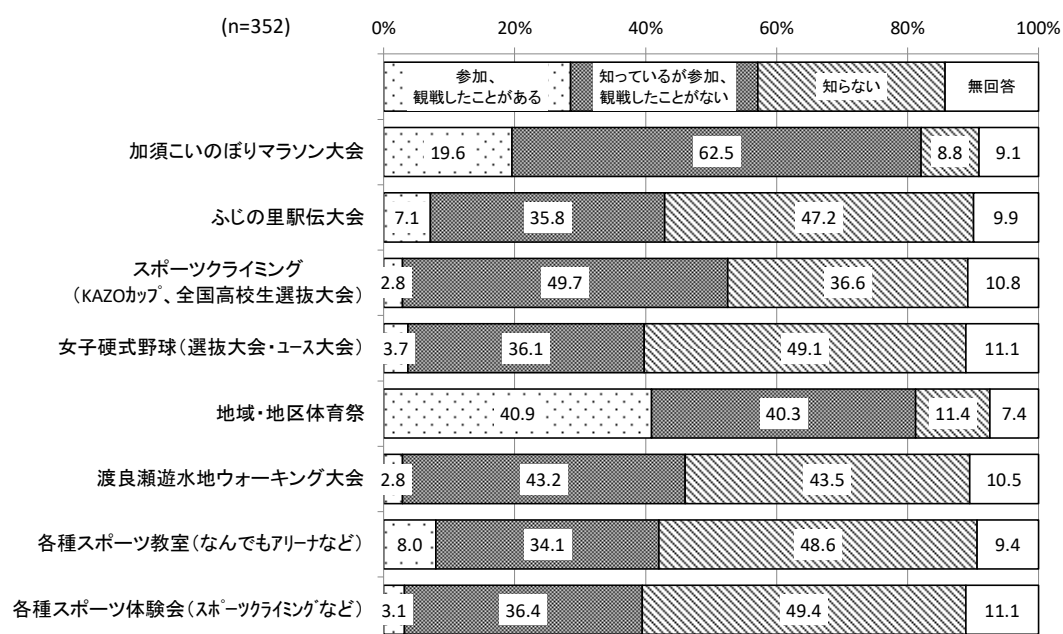
## ■市主催の大会や教室への参加・観戦状況

「参加、観戦したことがある」という回答は、『地域・地区体育祭』が40.9%で最も多く、次いで『加須こいのぼりマラソン大会』が19.6%となっていますが、その他は1割未満となっています。

また、『加須こいのぼりマラソン大会』や『地域・地区体育祭』以外では、約40～50%の人が「知らない」と回答しています。

このため、魅力ある大会や教室の開催、大会や教室の積極的な情報発信の充実、継続的な開催などが求められます。

市主催の大会や教室への参加・観戦状況

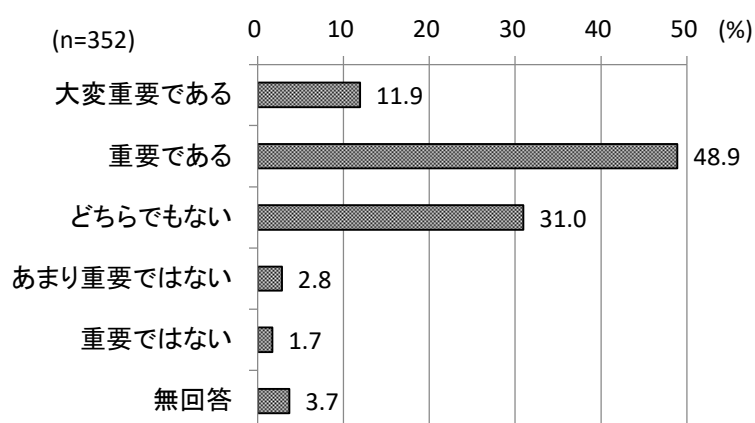


## ■スポーツに関するボランティア活動の重要度

スポーツに関するボランティア活動が「大変重要である」「重要である」と回答した割合の合計は、60.8%となっています。

今後もスポーツボランティアが果たす役割等の重要性を周知していくことが求められています。

スポーツに関するボランティア活動の重要度

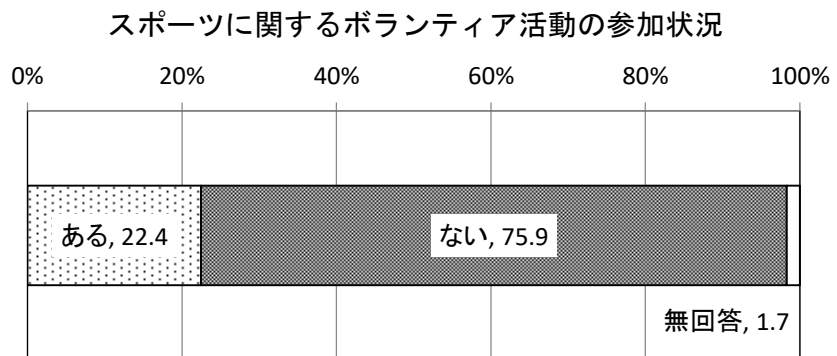




### ■スポーツに関するボランティア活動の参加状況

「ある」が22.4%、「ない」が75.9%となっています。

このため、引き続きスポーツボランティアとして各大会などに協力いただけるよう情報発信の充実が求められます。

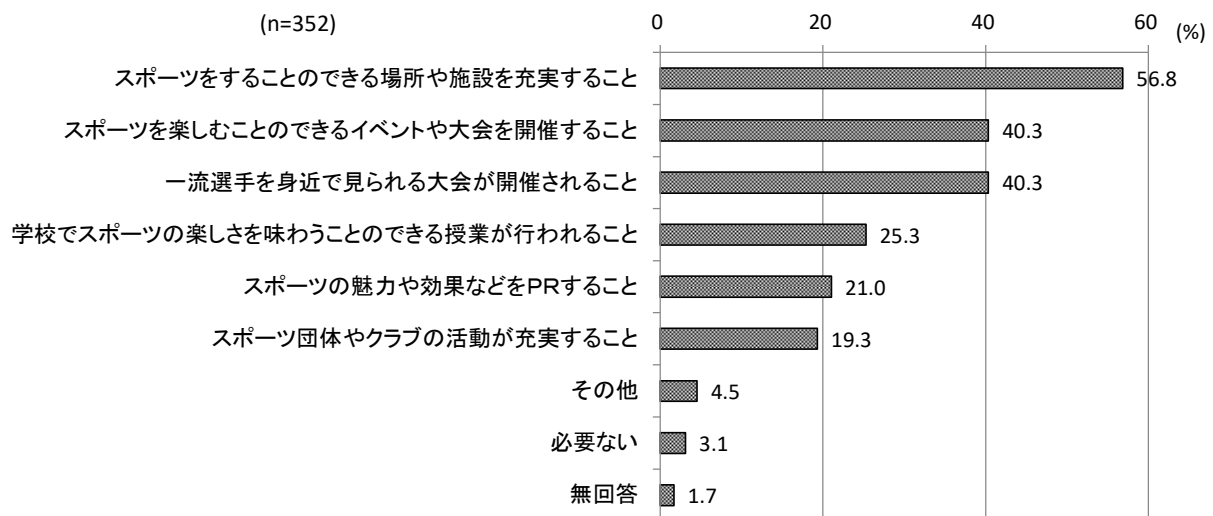


### ■加須市でスポーツをする人を増やすために必要だと思うこと

「スポーツをすることのできる場所や施設を充実すること」が56.8%で最も多く、次いで「スポーツを楽しむことのできるイベントや大会を開催すること」「一流選手を身近で見られる大会が開催されること」がそれぞれ40.3%となっています。

このため、市内にある多くのスポーツ施設を知っていただくとともに、市内で開催される大会などの情報発信の充実が求められます。

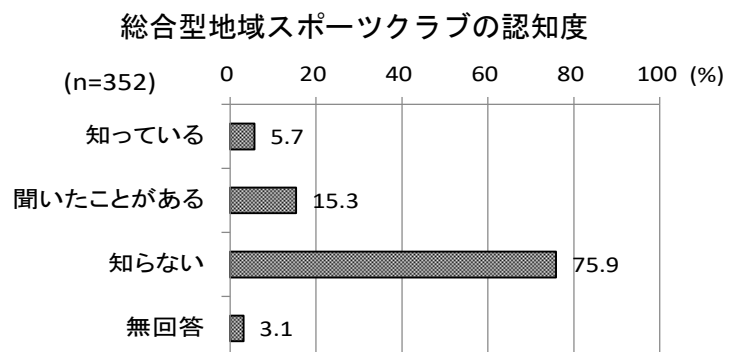
#### 加須市でスポーツをする人を増やすために必要だと思うこと



### ■総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブを「知らない」という回答が、75.9%となっています。

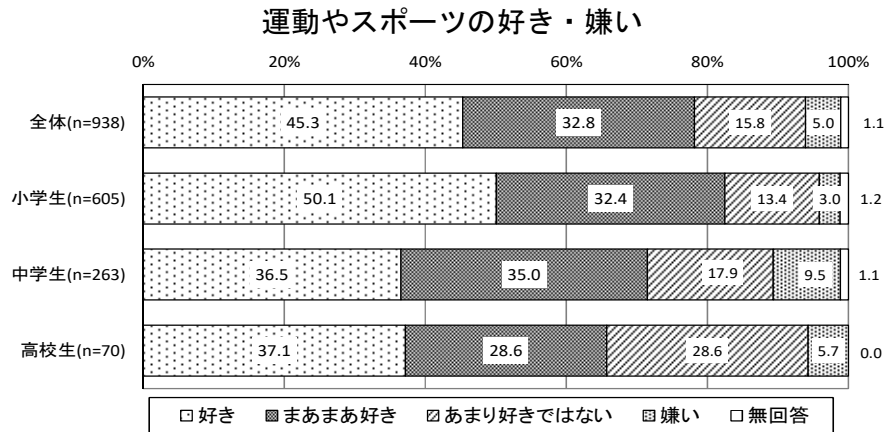
このため、まずは総合型地域スポーツクラブの認知度を向上させることが求められます。



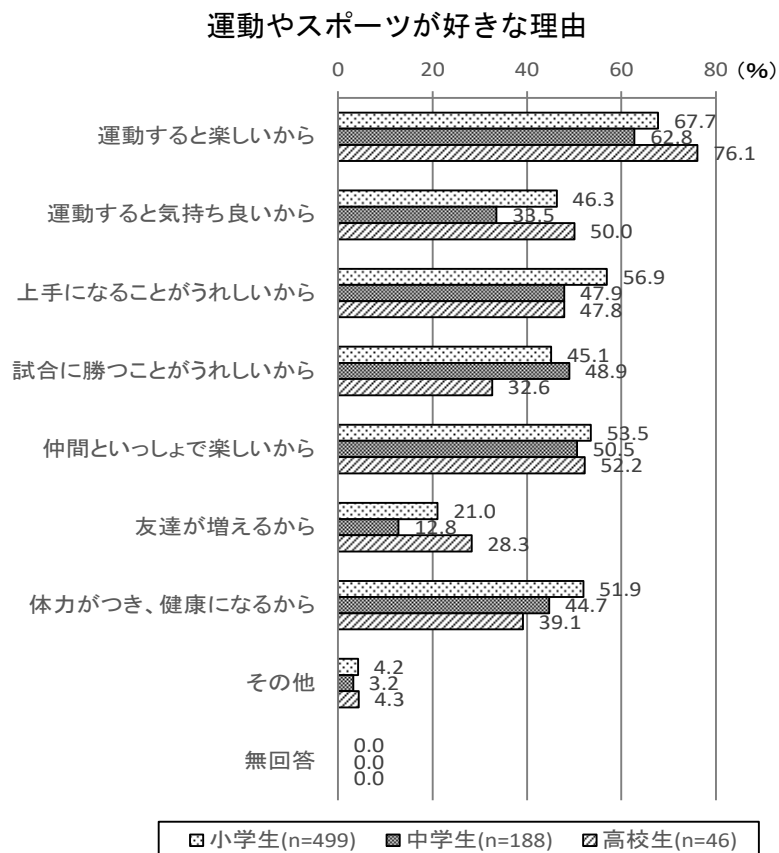
### (3) 小学生・中学生・高校生

#### ■スポーツに対する意識

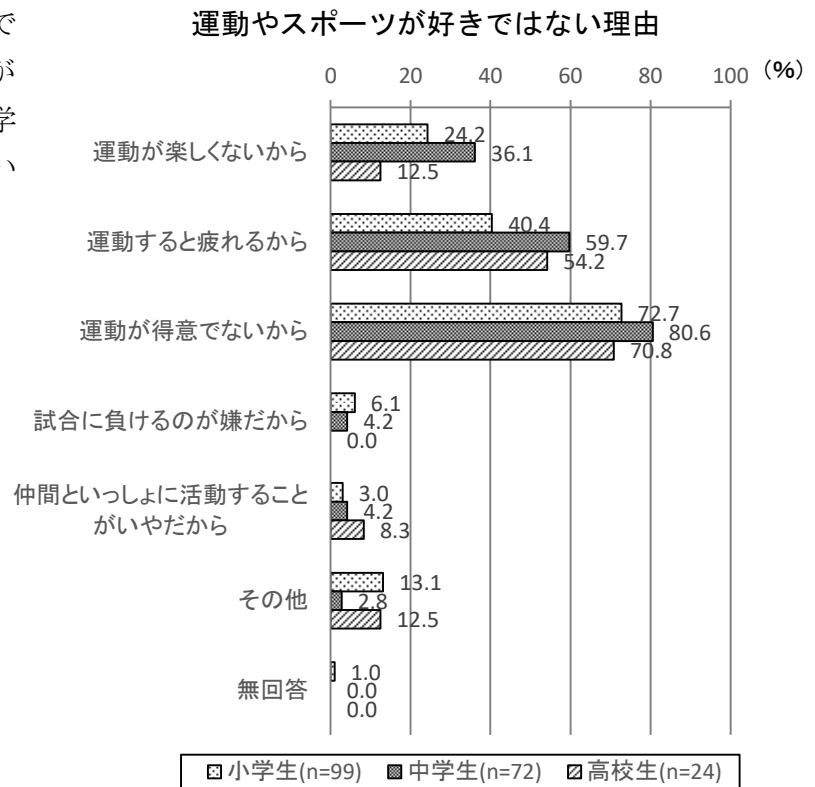
運動やスポーツをするのが「好き」「まあまあ好き」と回答した割合の合計は、小学生が82.5%、中学生が71.5%、高校生が65.7%となっています。



また、運動やスポーツをするのが好きな理由については、「運動すると楽しいから」が小学生・中学生・高校生とも最も多くなっています。



一方、運動やスポーツが好きではない理由については、「運動が得意でないから」が小学生・中学生・高校生とも最も多くなっています。



このため、ニュースポーツなど様々な運動やスポーツを体験することのできる機会を充実していくことが求められます。

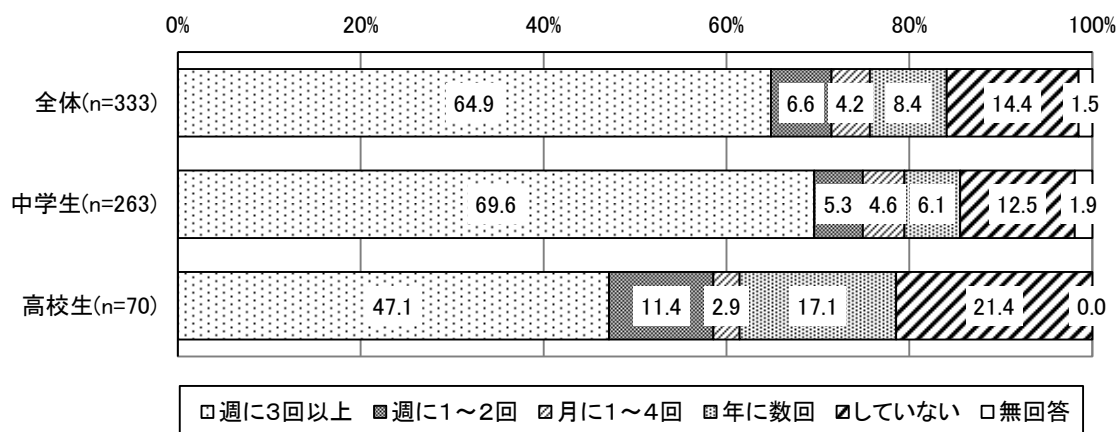
## ■スポーツ実施状況

過去1年間で体育の授業のほかに、運動やスポーツを週1回以上したという回答は、中学生が74.9%、高校生が58.5%となっています。一方、「していない」は中学生が12.5%、高校生が21.4%となっています。

このため、中学生、高校生の運動やスポーツをすることの習慣化が課題となっており、運動やスポーツをすることの必要性などの情報提供の充実が求められます。

### 過去1年間の運動やスポーツの実施状況

(運動部やスポーツクラブなどは含めるが、体育の授業は除く)

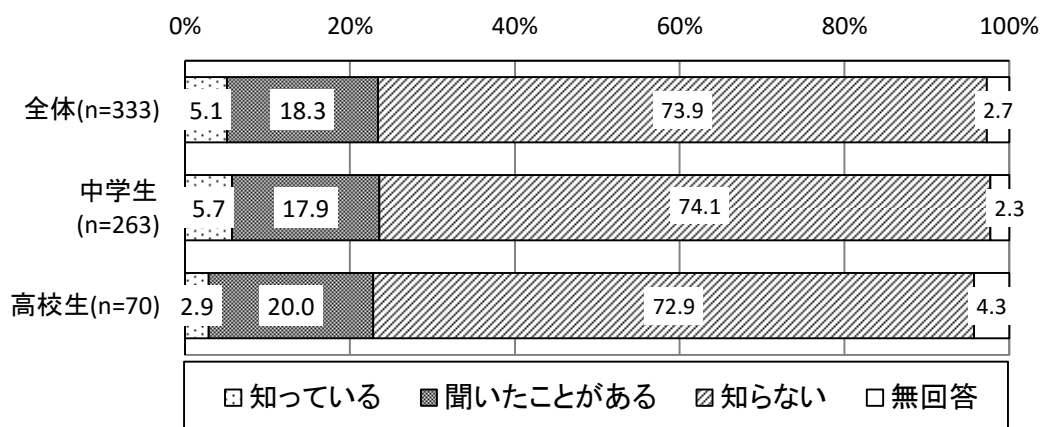


## ■総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブを「知らない」という回答が、中学生・高校生とも7割を超えています。

このため、総合型地域スポーツクラブの認知度を向上させることが求められます。

### 総合型地域スポーツクラブの認知度



#### (4) 障がい者手帳をお持ちの方

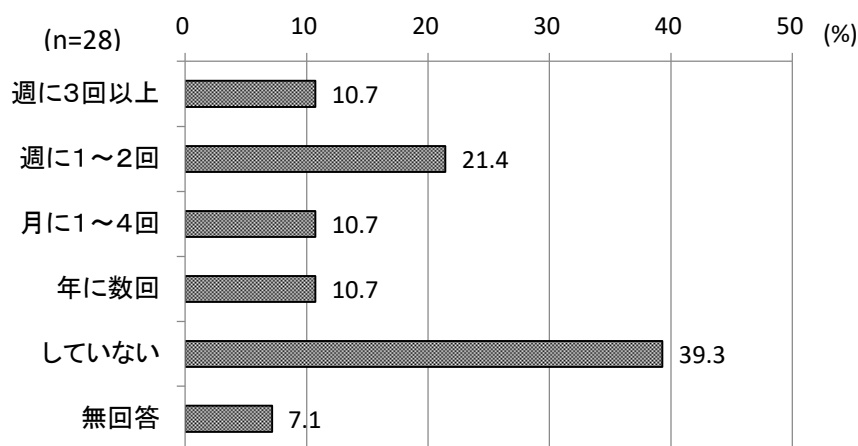
##### ■スポーツ実施状況

過去1年間に、運動やスポーツを週1回以上したという回答は32.1%となっています。一方、「していない」は39.3%となっています。

運動やスポーツをする理由としては、「健康や体力の維持・増進のため」が最も多くなっています。一方、運動やスポーツをしない理由としては、「身近に場所や施設がないから」が最も多くなっています。

このため、障害の種類や程度、個々のニーズに応じてスポーツに取り組むことができる機会の充実が求められます。

過去1年間の運動やスポーツの実施状況

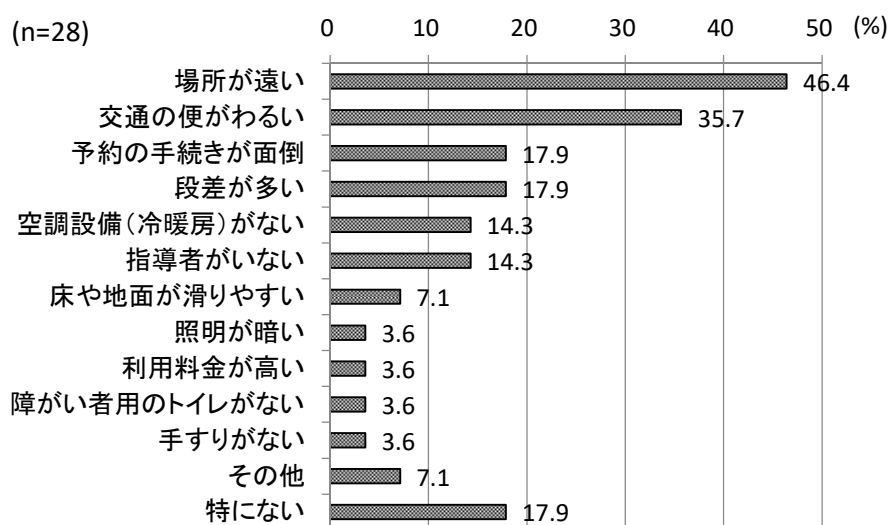


##### ■運動やスポーツをする際に利用する場所や施設の問題点

「場所が遠い」が46.4%で最も多く、次いで「交通の便がわるい」が35.7%となっています。

このため、障がい者が気軽にスポーツができるよう身近な施設の利用促進が求められます。

利用する場所や施設の問題点

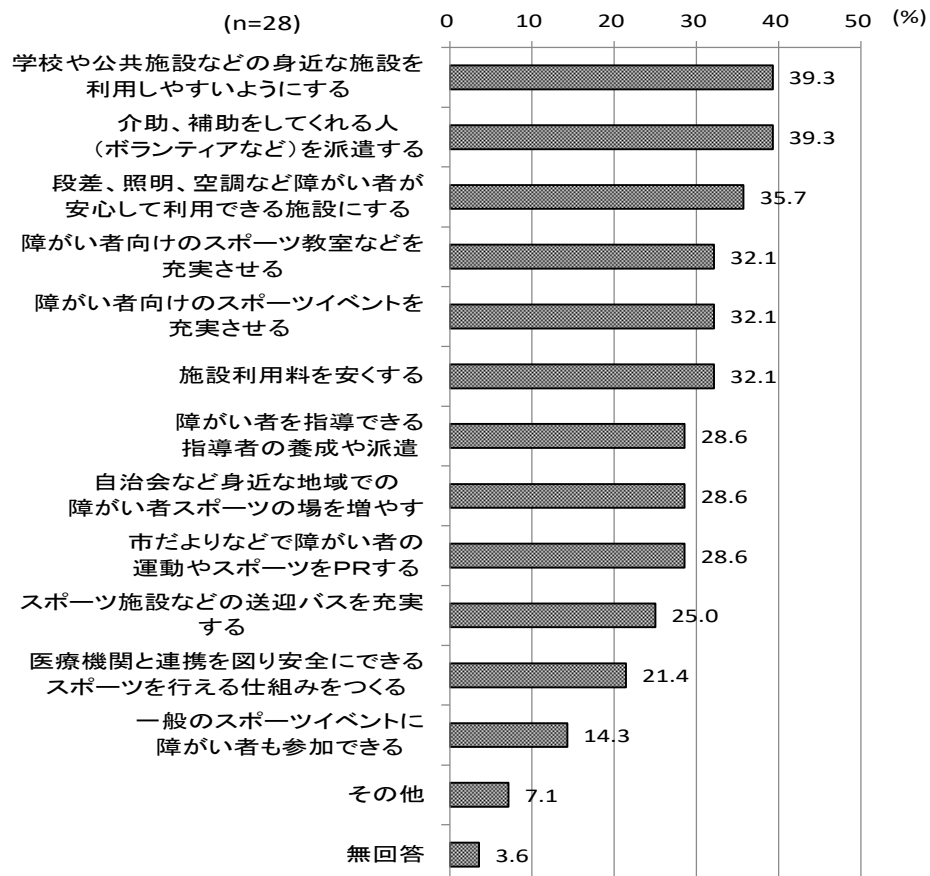


## ■障がい者スポーツの充実・発展のために重要だと思うこと

「学校や公共施設などの身近な施設を利用しやすいようにする」「介助、補助をしてくれる人（ボランティアなど）を派遣する」がそれぞれ39.3%で最も多く、次いで「段差、照明、空調など障がい者が安心して利用できる施設にする」が35.7%となっています。

このため、障がい者がスポーツ施設を利用しやすい環境を充実することや障がい者向けのスポーツ機会の充実が求められます。

### 障がい者スポーツの充実・発展のために重要だと思うこと

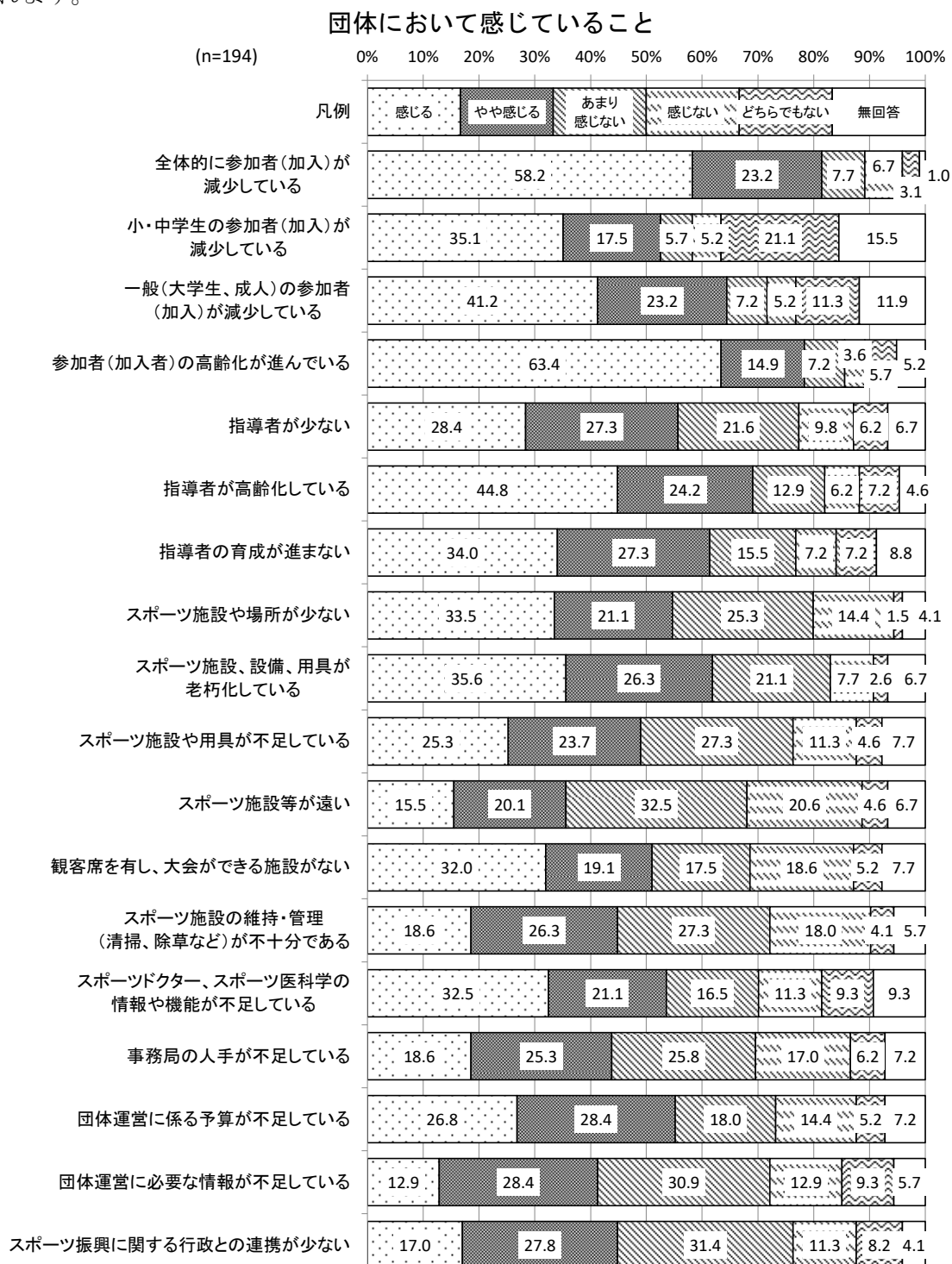


## (5) スポーツ団体等

### ■団体において感じていること

「感じる」「やや感じる」と回答した項目の上位は、『全体的に参加者（加入）が減少している』が81.4%、『参加者（加入者）の高齢化が進んでいる』が78.3%、『指導者が高齢化している』が69.0%、『一般（大学生、成人）の参加者（加入）が減少している』が64.4%、『スポーツ施設、設備、用具が老朽化している』が61.9%、『指導者の育成が進まない』が61.3%となっています。

このため、市民の団体活動への加入の促進、指導者の育成などを推進していくことが求められます。

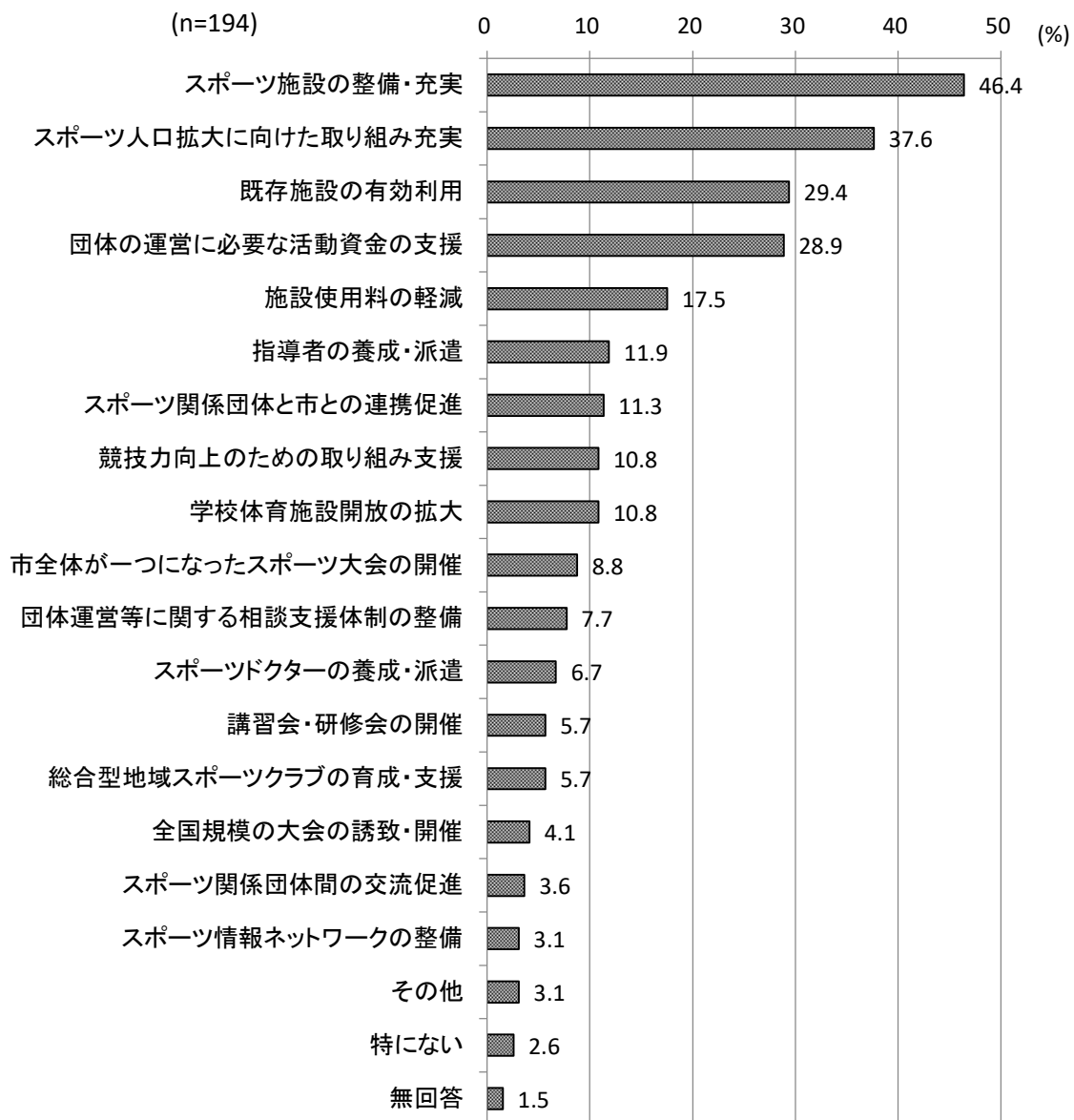


## ■スポーツ施策を推進するために行政に期待すること

「スポーツ施設の整備・充実」が46.4%で最も多く、次いで「スポーツ人口拡大に向けた取り組み充実」が37.6%、「既存施設の有効利用」が29.4%、「団体の運営に必要な活動資金の支援」が28.9%となっています。

既存施設の有効利用が図られるよう市民ニーズを的確に捉え、維持管理や情報提供を行うなど総合的なスポーツ推進が求められます。

### スポーツ施策を推進するために行政に期待すること





## 4 加須市のスポーツ推進に向けた課題

### (1) 市民のスポーツ活動

18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率は34.1%にとどまっており、特に18歳から40歳代までのスポーツ実施率が低い状況です。それぞれの適性や関心、ライフステージに応じてスポーツに取り組むことのできる環境を整えていく必要があります。

### (2) 児童・生徒のスポーツ活動

小学生から中学生、高校生と成長するにつれて、スポーツをするのが「好き」又は「まあまあ好き」という割合（小学生82.5%、中学生71.5%、高校生65.7%）が下がっています。また、中学生、高校生の体育の授業を除く週1回以上のスポーツ実施率（中学生74.9%、高校生58.5%）は、中学生から高校生になると減少しています。子どもにとってスポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものであるため、スポーツの得意・不得意などに関わらず、全ての子どもがスポーツの楽しさや喜びを味わうことができる機会を増やしていく必要があります。

### (3) 高齢者のスポーツ活動

65歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率は50.0%で他の年齢より相対的に高いものの、健康寿命延伸に向けてスポーツに取り組むことが求められています。高齢者がいつまでも元気に、個々の健康状態や体力に応じてスポーツ活動に取り組むことができる環境づくりを推進する必要があります。

### (4) 障がい者のスポーツ活動

障がい者が気軽にスポーツに取り組むには、施設までのアクセスのしやすさや、介助者の確保等、障がい者がスポーツをしやすい環境づくりが求められます。障害の種類や程度、個々のニーズに応じたスポーツの機会を充実していく必要があります。

### (5) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、地域スポーツの担い手としての役割が期待されています。しかし、総合型地域スポーツクラブのことを知らないという市民が75.9%、中学生・高校生が73.9%と多く、認知度の向上を図るとともに、育成支援や新たなクラブ設立の支援をしていく必要があります。

### (6) スポーツ指導者

指導者の高齢化や、指導者の育成が進んでいないことなどが懸念されるため、市内の優れた人材を発掘・育成をしていく必要があります。

## (7) スポーツボランティア

スポーツに関するボランティア活動をしたことがある市民は22.4%と多くの市民がスポーツボランティアとして様々なスポーツイベント等で活躍しています。スポーツを通した元気なまちづくりを推進していく上で、スポーツボランティアの存在は重要であり、ボランティアの確保・育成をさらに推進していく必要があります。

## (8) スポーツ施設

市内の公共スポーツ施設には、老朽化が進んでいる施設が多く、良好な状態を保つために適切な維持管理を引き続き行う必要があります。また、施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインを進めるなど、障がい者や高齢者等の施設の利用や観戦のしやすさの向上を図っていく必要があります。

## (9) 学校体育施設

学校体育施設の開放事業は、地域におけるスポーツ活動の拠点としての役割とともに、地域住民の交流の場としての役割も果たしています。引き続き市民が気軽に利用できる施設として有効活用を図る必要があります。

## (10) 女子野球

加須市を拠点として活動している埼玉西武ライオンズ・レディースとの連携によるスポーツの振興と地域活性化が求められています。

「女子野球の聖地」として全国高等学校女子硬式野球選抜大会や全国女子硬式野球ユース選手権大会を開催してきたことなどから、全日本女子野球連盟の「女子野球タウン」に認定されたことを受け、全日本女子野球連盟と連携し更なる女子野球の普及振興と地域の活性化を進めていく必要があります。

## (11) スポーツクライミング

加須市が「クライミングのまち」として将来にわたり定着できるよう、平成22年に加須市から始まった全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会を継続して加須市で開催することが求められています。

スポーツクライミングは東京2020大会の正式種目となり注目され人気が高まっていますが、東京2020大会以降も加須市がスポーツクライミングをけん引できるよう、これまで以上にスポーツクライミングの普及を進めていく必要があります。

## (12) 自転車

自転車を通して加須市の魅力をより多くの方に知っていただくとともに、「観光サイクリング」のブランド化を図り、加須市が「自転車のまち」として認知されるよう進めており、市民の自転車利用の促進による健康づくりを併せて進めていく必要があります。

### (13) ローラースポーツ

新たに整備された「加須スケートパーク」の利用増進を図るとともに、若者の集うまちづくりを進めるため、東京2020大会で新たに正式種目となったローラースポーツを推進していく必要があります。

## 第3章 基本的な考え方

### 1 基本理念

スポーツを日常的に行うことにより、人生を楽しく健康でいきいきとしたものにすることができ、人を元気にします。また、共生社会の実現、青少年の健全育成、健康長寿社会の実現、地域の活性化、交流人口の拡大、若者の定着などスポーツはまちを元気にします。このことは、市民一人ひとりが関心や適正等に応じて日常的、自発的にスポーツに参画することで実現されるものです。

このため、本計画の基本理念を次のとおり定めます。

**みんなでスポーツ、元気な加須市**  
**～スポーツの力で市民も加須市も元気なまちづくり～**

全ての市民が生涯にわたってスポーツに親しむためには、スポーツを実際に「する人」だけでなく、スポーツを観戦し楽しむ「みる人」、そして、指導者やボランティアといった「ささえる人」の視点が重要です。

スポーツを身近なものとして実感し、関心を持ち、親しむためには、身近で各競技の大会、特に全国、世界規模の大会などに触れることでさらに前進します。

また、これら全国、世界規模の大会が開催されることで、加須市に多くの若者が集い、交流が生まれ、にぎわいが生まれるとともに、加須市への定着といったことにも繋がります。

## 2 基本目標

基本理念を踏まえ、2つの基本目標を掲げ、施策の推進に取り組みます。

### (1) スポーツを楽しむ元気な市民 ～スポーツ参画人口の拡大～

競技としてのスポーツから気分転換やストレス解消など様々なことを目的としたレクリエーションまでをスポーツ・レクリエーションとして幅広く捉え、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感、自律心その他の精神を育むため、全ての市民がスポーツ・レクリエーションを行うことで「楽しさ」や「喜び」などを感じることもできるよう、スポーツ・レクリエーションの機会や場の充実を図ります。

### (2) スポーツで元気な加須市 ～スポーツを核とした交流人口の拡大～

スポーツ・レクリエーションの関心を高め、全ての市民がスポーツ・レクリエーションに参加できるよう、女子野球・スポーツクライミング・自転車などの推進や活用、大学・高校・関係競技団体などと連携を図り、全国・世界規模のスポーツ大会やイベントの誘致・開催を目指します。

## 第4章 基本目標の実現に向けた施策

### 1 施策の体系

基本目標の実現に向けて、今後5年間に取り組む施策を次のとおり定めます。

#### 基本目標1

スポーツを楽しむ元気な市民 ～スポーツ参画人口の拡大～

- 施策1 ライフステージに応じたスポーツの推進
- 施策2 だれもが楽しめるスポーツの推進
- 施策3 スポーツ人材の充実
- 施策4 スポーツに親しめる場の充実

#### 基本目標2

スポーツで元気な加須市 ～スポーツを核とした交流人口の拡大～

- 施策1 女子野球の推進
- 施策2 スポーツクライミングの推進
- 施策3 自転車の推進
- 施策4 全国大会等の支援

## 2 基本目標の実現に向けた施策

### 基本目標 1 スポーツを楽しむ元気な市民 ～スポーツ参画人口の拡大～

#### 施策 1 ライフステージに応じたスポーツの推進

スポーツ関係団体と連携・協力し、子どもから高齢者まで、だれもがそれぞれの目的・関心・適性等に応じ、競技スポーツから、グラウンド・ゴルフやフロアカーリングなどのニュースポーツのほか、サイクリングやウォーキング、ラジオ体操などのレクリエーションまでを含んだスポーツ・レクリエーションをライフステージに応じて「する」ことのできる機会の充実を図ります。

#### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
成人者の週1回以上スポーツ（運動）をする人の割合	スポーツ普及推進事業	34.1%	65.0%
スポーツ少年団に入っている子どもの割合		11.1%	13.0%
スポーツ・レクリエーション団体の加盟団体数及び加盟人数		279 団体 5,482 人	280 団体 6,000 人
市民体育祭（地域体育祭）の参加者数	市民体育祭支援事業	6,850 人 ※台風19号の影響によりH30年度実績値記載	7,100 人
スポーツ教室開催回数及び参加人数	スポーツ教室等開催事業	15 回 449 人	18 回 800 人
グラウンド・ゴルフ競技人口 （スポーツ協会加盟者数＋レクリエーション協会加盟者数）	グラウンド・ゴルフ推進事業	1,285 人	1,400 人
グラウンド・ゴルフの大会開催回数		56 回	60 回
ウォーキング大会（市、地域・地区スポーツ協会）開催数及び参加人数	健康スポーツ推進事業	10 回 1,442 人	14 回 1,600 人

【取組内容】

事業名	内 容	所管課
<p>スポーツ普及推進事業</p>	<p><b>【スポーツ団体等への活動支援】</b>            子どもから高齢者まで幅広く一人でも多くの市民がスポーツを行うことができるよう、スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団及び加盟団体が行う市民を対象とした大会やイベントなどの活動を支援します。</p> <p><b>【スポーツ・レクリエーション団体への加入促進】</b>            多くの市民がスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、関係団体などの情報発信に努め加入を促進します。</p> <p><b>【スポーツ少年団への加入促進】</b>            子どもたちがスポーツに興味を持ち、スポーツ少年団活動に参加するきっかけとなるよう、小学校への情報発信やスポーツ少年団による体験会の開催などを進め、加入を促進します。</p> <p><b>【スポーツ表彰式の開催】</b>            スポーツに貢献し功績顕著な方及びスポーツ界で優秀な成績を収めた方の栄誉を称える表彰を行うとともにスポーツを推進するため、スポーツ表彰式を開催します。</p> <p><b>【スポーツ保険の加入促進】</b>            安心・安全にスポーツを行えるよう、日常的にスポーツを行う人のケガや障害などを保障するスポーツ保険への加入を促進するとともに、団体が主催するイベントなどでの事故による第三者への補償をする賠償責任保険への加入を促進します。</p> <p><b>【環境変化に対応したスポーツの推進】</b>            夏の酷暑や新型コロナウイルスなどの環境変化に対応するため、国・県などの動向を踏まえ、関係団体と連携し、安全なスポーツを推進します。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>市民体育祭支援事業</p>	<p><b>【市民体育祭の支援】</b>            市内4地域のスポーツ協会が開催する市民体育祭に、より多くの市民が参加できるよう支援を行うとともに、情報発信の充実や実施内容の見直しを促進します。</p> <p><b>【スポーツイベントの実施】</b>            市民が一堂に会して行うことのできるスポーツイベントの開催を検討します。</p>	<p>スポーツ振興課</p>



事業名	内 容	所管課
スポーツ教室等開催事業	<p><b>【児童向けスポーツ教室の開催】</b> 子どもたちに様々なスポーツを体験してもらえるよう、スキー、水泳、スポーツクライミング、ヨット、カヌーなど様々な児童向けスポーツ教室を開催します。 また、スポーツ少年団と連携した児童向けスポーツ教室を推進します。</p> <p><b>【親子スポーツ教室の開催】</b> スポーツを通して親子の絆を深めるとともに、スポーツの楽しさを実感できるようテニスやスポーツクライミングなどの親子スポーツ教室などを開催します。</p> <p><b>【ニュースポーツ教室等の開催】</b> 幅広い年齢層の方が参加でき多世代で交流が図れるよう、フロアカーリング、スポーツウエルネス吹き矢などのニュースポーツ教室を開催します。</p> <p><b>【地域の特性を活かした教室の開催】</b> 渡良瀬遊水地の恵まれた水環境を活用したウォータースポーツを普及するため、ヨット・カヌー教室を開催します。</p> <p><b>【魅力あるスポーツ教室の開催】</b> 市民ニーズが高く、継続的に体力・健康づくりができるヨガやピラティス、ケガの予防や運動後の疲労回復の促進に効果があるストレッチ教室を開催します。</p>	スポーツ振興課
グラウンド・ゴルフ推進事業	<p><b>【グラウンド・ゴルフの推進】</b> グラウンド・ゴルフは高齢者の仲間づくりや健康づくりを担う軽スポーツとして、スポーツ団体のほか、老人クラブや自治会などでも盛んに行われており、より多くの市民が参加できるような公園などの身近な場所で楽しめるグラウンド・ゴルフを推進します。</p> <p><b>【グラウンド・ゴルフ大会の推進】</b> グラウンド・ゴルフ協会が主催する関東規模の大会の開催を支援するとともに、様々な団体が開催する気軽に参加でき交流や生きがいくりのできるグラウンド・ゴルフ大会の開催を推進します。</p>	スポーツ振興課 高齢者福祉課

事業名	内 容	所管課
健康スポーツ推進事業	<p><b>【健康づくりウォーキング大会の推進】</b> 市民の健康づくりや仲間づくりを推進するため、スポーツ協会による地域や地区でのウォーキング大会の開催を推進するとともに、スポーツ推進委員との連携により「健康づくりウォーキング」を開催します。</p> <p><b>【ニュースポーツ大会の推進】</b> ニュースポーツを行う団体やスポーツ推進委員協議会などによるニュースポーツ大会の開催を推進します。</p>	スポーツ振興課
	<p><b>【ラジオ体操の推進】</b> 自治会などで行われているラジオ体操について、さらに市民の健康づくりを促進するため情報発信などに努め、より多くの市民が参加する取り組みとなるよう推進します。</p>	スポーツ振興課 高齢者福祉課
学習指導改善研究事業	<p><b>【加須市なわとびチャレンジ月間の開催】</b> 加須市なわとびチャレンジ月間を設定し、市内の小・中学校児童・生徒がなわとびに親しむとともに、児童・生徒の体力向上を図ります。</p>	学校教育課

## 施策2 だれもが楽しめるスポーツの推進

筋力や運動能力が低下した方や障害のある方など、全ての市民がスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、筋力アップや健康・体力維持などの軽い運動からボッチャなどのパラスポーツまでを楽しむ機会の充実を図ります。

### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
障がい者の週1回以上のスポーツ実施率	スポーツ教室等開催事業	32.1%	40%
パラスポーツ体験会・教室開催回数		0回	2回
障がい者スポーツ交流大会の参加者数	障害者スポーツ交流事業	344人	300人
体力年齢若返り	筋力アップトレーニング事業	7.5歳	10歳

### 【取組内容】

事業名	内 容	所管課
スポーツ教室等開催事業	<p><b>【パラスポーツ体験会・教室の開催】</b> 障害の有無に関わらず気軽に参加できるボッチャなどのパラスポーツ体験会や教室を開催します。</p> <p><b>【障がい者スポーツの推進】</b> 障がい者が安心・安全にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ推進委員と連携したスポーツ活動の指導や手伝いなどの支援により障がい者スポーツを推進します。</p>	スポーツ振興課
障害者スポーツ交流事業	<p><b>【障がい者スポーツ交流大会の開催】</b> 各障がい者団体会員及び介護者を中心として、パラリンピック種目でもあるボッチャなどを取り入れたミニ運動会を開催します。市内の高校や大学の学生ボランティアにも協力いただき、障害のある人もない人もともにスポーツを通して交流を図ります。</p>	障がい者福祉課

事業名	内 容	所管課
筋力アップトレーニング事業	<p><b>【筋力アップトレーニングの推進】</b></p> <p>筋力アップトレーニングや有酸素運動を行い、転倒予防や生活習慣病の予防を推進します。また自主グループ活動への支援を行います。</p>	健康づくり推進課
生活習慣病予防事業	<p><b>【生活習慣病予防講座の開催】</b></p> <p>自分に合った運動を見つける機会や、運動を中心に生活習慣を見直す機会を提供し、健康の保持増進及び生活習慣病予防を図ります。</p>	健康づくり推進課
元気はつらつ介護予防事業	<p><b>【高齢者の介護予防の推進】</b></p> <p>転倒予防教室における筋力トレーニング等の実施やふれあいサロン等、地域の高齢者の活動の場における加須転倒無止体操の普及啓発を行います。</p>	高齢者福祉課

### 施策3 スポーツ人材の充実

スポーツ・レクリエーションを行うには、指導者や審判のほか、多くのボランティアなどの関係者による「ささえる」人が必要であり、スポーツ推進委員や関係団体と連携し、人材育成を含めたスポーツを推進します。

#### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会の市民ボランティアの人数	スポーツ支援人材育成・活用事業	798人 ※新型コロナウイルスの影響によりH30年度実績値記載	800人
指導者講習会・研修会開催回数		0回	2回

#### 【取組内容】

事業名	内 容	所管課
スポーツ支援人材育成・活用事業	<p><b>【スポーツ推進委員によるスポーツ教室の充実】</b> 市民が親しめるようなニュースポーツの普及を図るため、フロアカーリングやヘルスバレーボールなどの体験教室を開催します。</p> <p><b>【スポーツ推進委員の市の事業やイベントへの参画】</b> 市が主催するスポーツ事業やイベントに企画の段階から参画し、専門的な意見を踏まえ事業の充実を図ります。</p> <p><b>【スポーツ推進委員による地域活動の充実】</b> スポーツ協会が主催する地域や地区のスポーツ活動にスポーツ推進委員が指導、助言を行い地域活動の充実を図ります。</p> <p><b>【スポーツ推進委員活動への支援】</b> スポーツ推進委員として市民のスポーツ活動を推進するため、指導者としての資質向上を図る研修会参加や自主事業を支援します。</p> <p><b>【スポーツボランティアの充実】</b> 市民の協力によって開催しているマラソン大会、駅伝大会、体育祭のほか、全国規模の大会開催にあたり、引き続きボランティアとして活躍していただけるよう人材確保や情報発信に努めます。</p>	スポーツ振興課

事業名	内 容	所管課
スポーツ支援人材育成・活用事業	<p><b>【高校・大学との連携】</b>  将来のスポーツ支援人材を育成するために、高校・大学と連携したスポーツイベントへの参加などを促進します。</p> <p><b>【スポーツ指導者の育成】</b>  スポーツ団体などに所属する指導者はもとより、潜在化している地域にかくれた多くの人材を発掘し、加須市スポーツ協会との連携により、スポーツの普及に必要な指導者の育成に努めます。また、埼玉県スポーツ協会が主催する指導者研修会等を利用した指導者養成を行います。</p> <p><b>【指導者資格の支援】</b>  スポーツ人口の底辺拡大を図るため、競技団体などの指導者資格の新規取得に関する支援をします。</p> <p><b>【スポーツドクター等の活用促進】</b>  全国規模の大会などを安心・安全に開催できるよう、医師会と連携協力し、スポーツドクターのほか、医師や看護師などの活用を促進します。</p> <p><b>【一流アスリートとの交流】</b>  スポーツへの興味や関心を高めるとともにスキルアップを図るため、埼玉西武ライオンズ・レディースなどの一流アスリートのプレーを市民が間近で観る機会やスポーツ教室の開催により一流アスリートと接する機会を創出します。</p>	スポーツ振興課
学校いきいきステーション事業	<p><b>【中学校での部活動における外部指導者の活用】</b>  中学校の部活動に地域人材を「部活動応援団」として活用することにより、部活動を支援し、生徒の技術向上や活動の活性化を図ります。</p>	学校教育課

#### 施策4 スポーツに親しめる場の充実

市スポーツ施設のほか、学校体育施設、彩の国KAZOヴィレッジ、県スポーツ施設などの活用を推進するとともに、総合型地域スポーツクラブとの連携など、幅広い視点からスポーツに親しめる場の活用を推進します。

##### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
総合型地域スポーツクラブの設置数	総合型地域スポーツクラブ育成事業	1クラブ	3クラブ
総合型地域スポーツクラブの会員数		530人	900人
体育館・運動公園施設の年間利用者数	スポーツ施設管理運営事業	603,519人	680,000人
学校開放体育施設の利用団体登録数及び利用者数	学校体育施設開放管理運営事業	222団体 179,709人	250団体 210,000人

##### 【取組内容】

事業名	内 容	所管課
総合型地域スポーツクラブ育成事業	<p><b>【総合型地域スポーツクラブの育成支援】</b> 子どもから高齢者まで全ての年代の市民が、活動に参加できる環境づくりを進めるため、総合型地域スポーツクラブの自立支援を行います。</p> <p><b>【クラブマネージャーの育成支援】</b> 自立したクラブ運営が行えるよう県などと連携し、クラブマネージャーの育成支援を行います。</p> <p><b>【総合型地域スポーツクラブの設立支援】</b> クラブ設立に向けた準備から発足までの支援やクラブ設立への気運を高めるために市民やスポーツ関係団体などへの説明会などを行います。</p>	スポーツ振興課

事業名	内 容	所管課
スポーツ施設整備事業	<p><b>【施設改修・修繕計画に基づいた施設の整備】</b>            体育館や運動公園など、老朽化した施設の機能向上を図るため、計画的な施設の改修整備を行います。</p> <p><b>【バリアフリー化の推進】</b>            障がい者や高齢者などが安心・安全に施設の利用ができるよう、施設のバリアフリー化に努めます。</p>	スポーツ振興課
スポーツ施設管理運営事業	<p><b>【予約受付方法の検討】</b>            施設予約の利便性を向上し施設利用が促進できるよう、インターネットによる予約受付の方法などの検討を行います。</p> <p><b>【施設の利用調整】</b>            全ての市民が等しく利用できるよう、また、スポーツ団体などの事業が円滑に行えるよう、施設の利用調整を行います。</p> <p><b>【施設維持管理の徹底】</b>            安心・安全にスポーツを行えるよう、故障箇所の早期修繕に努めます。</p> <p><b>【競技用備品の充実】</b>            利用者が楽しく安心して利用できるよう競技用備品の入れ替えなどによる充実に努めます。</p>	スポーツ振興課
学校体育施設開放管理運営事業	<p><b>【学校開放施設の利用調整等】</b>            利用が多い学校開放施設について、円滑に利用できるよう利用団体と日程調整を行います。</p> <p><b>【学校開放施設の利用促進】</b>            学校開放施設を地域スポーツの活動拠点とするため、広報紙やホームページなどにより周知徹底し、市民の学校開放施設の利用を促進します。</p> <p><b>【学校開放施設の維持管理】</b>            学校開放を行っている小・中学校の体育館やグラウンドについて、利用者が安全に利用できるよう学校開放の適正な維持管理に努めます。</p>	スポーツ振興課



事業名	内 容	所管課
民間・県施設活用事業	<p><b>【彩の国KAZOヴィレッジの利用促進】</b> 埼玉県サッカー協会が管理運営する彩の国KAZOヴィレッジ(SFAフットボールセンター)の市民利用を促進することができるよう埼玉県サッカー協会と連携し利用を促進します。</p> <p><b>【高校・大学・民間施設を利用したスポーツの普及】</b> 市の施設では活動することができないスポーツ競技について、高校・大学・民間施設を利用したスポーツの普及を図ります。</p> <p><b>【県施設の活用促進】</b> 県営加須はなさき公園、県営加須げんきプラザなど市内にある県施設の市民利用を促進します。また、多くの市民が大会などで利用できるよう花崎多目的遊水地の活用を促進します。</p>	スポーツ振興課
広域行政推進事業	<p><b>【近隣市体育施設の相互利用促進】</b> 市に設置していない温水プールなど、近隣市町の体育施設の相互利用を促進します。</p>	政策調整課
障害者スポーツ交流事業	<p><b>【障害者交流センターの有効活用】</b> 埼玉県障害者交流センターが行う競技者・支援者等の育成事業やイベントを活用し、市における障がい者スポーツの振興を図ります。</p>	障がい者福祉課
スポーツ施設安全点検事業	<p><b>【日常的な安全点検】</b> 利用者が安心して利用できるよう安全点検を行い、事故や故障の未然防止に努めます。</p>	スポーツ振興課
小学校管理運営事業 中学校管理運営事業	<p><b>【施設の適正な維持管理】</b> 施設が安全に利用できるよう適正な維持管理に努めます。</p>	教育総務課

## 基本目標 2 スポーツで元気な加須市 ～スポーツを核とした交流人口の拡大～

### 施策 1 女子野球の推進

全国高等学校女子硬式野球選抜大会や全国女子硬式野球ユース大会の開催、加須市を拠点として活動している「埼玉西武ライオンズ・レディース」、「女子野球タウン」の認定による「女子野球の聖地」の定着と女子野球の更なる推進を図ります。

#### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
女子硬式野球観客数 (ユース大会、選抜大会)	女子硬式野球振興事業	14,926人 ※新型コロナウイルスの影響によりH30年度実績値記載	24,000人
女子野球イベント(教室など)の開催回数		0回	2回

#### 【取組内容】

事業名	内 容	所管課
女子硬式野球振興事業	<p><b>【全国高等学校女子硬式野球選抜大会の開催】</b> 一般社団法人全日本女子野球連盟と連携するとともに、市野球連盟、花咲徳栄高校、平成国際大学などと協働し、選抜大会を継続開催し、競技の普及推進と本市のイメージアップを図ります。</p> <p><b>【全国女子硬式野球ユース大会の開催】</b> 一般社団法人全日本女子野球連盟と連携するとともに、市野球連盟、花咲徳栄高校、平成国際大学と協働し、ユース大会を継続開催し、競技の普及推進と本市のイメージアップを図ります。</p> <p><b>【一般社団法人全日本女子野球連盟との連携(女子野球タウン)】</b> 一般社団法人全日本女子野球連盟と連携し、双方のリソースを最大限に活かし、女子野球の普及と女子野球による地域活性化を図ります。</p> <p><b>【埼玉西武ライオンズ・レディースとの連携】</b> 本市を拠点とする埼玉西武ライオンズ・レディースが円滑に活動できるよう、市内練習場の提供や広報活動を支援し、女子野球の振興を図るとともに、埼玉西武ライオンズ・レディースによる野球教室等を開催し、地域スポーツの振興、人材の育成、地域活性化を図ります。</p>	スポーツ振興課

## 施策2 スポーツクライミングの推進

「クライミングのまち」として全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会を継続的に開催するとともに、関係団体と連携し、市民への定着を目指し、スポーツクライミングを推進します。

### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
クライミングウォール利用者数 (加須市民体育館、南篠崎体育館)	クライミング普及事業	10,423人	13,000人
クライミング大会開催数		2回	4回
クライミング大会観客数		—	1,500人

### 【取組内容】

事業名	内 容	所管課
クライミング普及事業	<p><b>【クライミング教室・体験会・認定会の開催】</b> 加須市山岳連盟と連携し、クライミング教室、体験会、認定会を開催し、クライミング人口の増加を図ります。</p> <p><b>【スポーツクライミングKAZOカップの開催】</b> 加須市山岳連盟、埼玉県山岳・スポーツクライミング協会と連携し、スポーツクライミングKAZOカップを開催することによって、「クライミングのまち加須」のPR及びクライミング競技の普及推進を図ります。</p> <p><b>【全国高等学校選抜クライミング選手権大会の開催】</b> 日本山岳・スポーツクライミング協会及び全国高等学校体育連盟との共催により、全国高等学校選抜クライミング選手権大会を継続的に開催することによって、「クライミングのまち加須」のPR及びクライミング競技の普及推進を図ります。</p>	スポーツ振興課

### 施策3 自転車の推進

ロードレース大会の開催や自転車の利用促進により、「自転車のまち」として市の魅力発信の充実を図ります。

#### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
レンタサイクル利用者数	観光サイクリング推進事業	950人	1,150人

#### 【取組内容】

事業名	内 容	所管課
自転車普及推進事業	<p><b>【サイクリング教室の開催】</b> サイクリングは筋持久力や心肺能力向上などに効果があり、子どもから大人まで参加できるサイクリング教室の開催を検討します。</p> <p><b>【全日本学生選手権チームロードレース大会／全日本学生選手権個人タイムトライアル自転車競技大会／埼玉県自転車タイム・トライアル・ロードレース大会の開催】</b> 利根川河川敷工事用道路を活用した日本学生自転車競技連盟や埼玉県自転車競技連盟によるロードレース大会の開催を推進します。</p>	スポーツ振興課
観光サイクリング推進事業	<p><b>【観光レンタサイクルの利用促進】</b> 自転車を利用した観光を推進し、加須市の魅力をより知っていただくことにより観光客の誘引を図ります。</p> <p><b>【サイクリング普及イベントの開催】</b> 関係機関や施設、近隣自治体と連携し、サイクリング普及イベントを開催することによって、「サイクリング適地」の認知度向上を図ります。</p>	観光振興課

#### 施策4 全国大会等の支援

全国・世界規模の大会をはじめとする各種大会を「みる」ことで、スポーツへの関心を高めることにより市民スポーツを推進します。

マラソンや駅伝、自転車競技、トライアスロンなど様々なスポーツ大会の誘致・開催を推進します。

#### 【数値目標】

指標名	事業名	現状値	目標値
		令和元年度	令和7年度
加須こいのぼりマラソン大会参加者数及び市民の参加者数	こいのぼりマラソン大会開催事業	5,937人 1,318人	6,500人 1,500人
加須ふじの里駅伝大会への参加チーム数及び参加者数	加須ふじの里駅伝大会支援事業	278チーム 1,694人	250チーム 1,700人
全国大会等の誘致数	全国大会等支援事業	11大会	14大会

#### 【取組内容】

事業名	内 容	所管課
こいのぼりマラソン大会開催事業	<b>【加須こいのぼりマラソン大会の開催】</b> 全国から6,000人以上のランナーが参加する加須こいのぼりマラソン大会を開催するとともに、魅力ある大会とするため沿道応援などの充実を図ります。	スポーツ振興課
加須ふじの里駅伝大会支援事業	<b>【加須ふじの里駅伝大会の開催】</b> 加須市スポーツ協会が主体となり、市内外から多くのチームが参加するふじアリーナ（騎西総合体育館）の周辺道路を周回する駅伝大会の支援を行い、より多くのチームが参加できる大会を支援します。	スポーツ振興課

<p>全国大会等 支援事業</p>	<p><b>【彩の国トライアスロン大会／紅葉チャレンジトライアスロン大会の開催】</b>  渡良瀬遊水地を活用した埼玉県トライアスロン連合が主管するトライアスロン大会の開催を推進します。</p> <p><b>【各種競技大会の開催】</b>  大利根文化体育館のボクシング設備を活用した埼玉県ボクシング連盟主催などによる大会開催を推進するとともに、ふじアリーナ（騎西総合体育館）を活用したバレーボールVリーグの開催を推進するなど、全国規模の大会の誘致に努めます。</p>	<p>スポーツ 振興課</p>
<p>オリンピック・パラリンピック関連事業</p>	<p><b>【聖火リレーの応援実施】</b>  聖火リレーが市内を通過するため、市民による沿道応援などにより聖火リレーを盛上げます。</p> <p><b>【事前トレーニングキャンプの受入】</b>  コロンビア共和国のホストタウンとして、事前トレーニングキャンプを受入れるため、コロンビア共和国の柔道・レスリング・ウエイトリフティング・陸上・ボクシング・サッカーのオリンピックに出場する選手の練習会場や宿泊施設の確保や調整などにより、オリンピックに出場する選手のサポートを行います。</p> <p><b>【オリンピック競技体験イベントの実施】</b>  事前トレーニングキャンプ練習会場となった平成国際大学や花咲徳栄高等学校と連携し、レスリング・ボクシング・ウエイトリフティングなどのオリンピック種目を体験できる機会を設けます。</p> <p><b>【ローラースポーツの推進】</b>  市内ローラースポーツ団体と連携し、東京2020大会で新たに採用されたスケートボードなどのローラースポーツを推進します。</p> <p><b>【コロンビア共和国との交流】</b>  コロンビア共和国選手や在日コロンビア大使館等との協働によって小・中学校で交流会を開催するとともに、コロンビア共和国の学校と手紙などを通じた国際交流を推進します。</p>	<p>スポーツ 振興課</p>

## 第5章 計画の推進

### 1 計画の推進体制

本計画の推進には、市民をはじめ、地域、学校、スポーツ関係団体、企業、行政が一体となって互いに連携・協力しながら、目標に向かって取り組んでいきます。

#### (1) 市民・団体との連携

加須市スポーツ協会、加須市スポーツ少年団、加須市レクリエーション協会や加須市スポーツ推進委員協議会、スポーツサークル団体、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ活動にかかわる市民など、事業に直接かかわる団体や個人と連携を図りながら事業を推進します。

#### (2) 学校との連携

市内の小・中学校においては、学校開放施設の利用や子どもたちのスポーツ活動について、地域や家庭及び学校と連携し事業を推進します。また、高校や大学などと大会運営や指導者の育成、施設の相互利用など、協働しながら事業を推進します。

#### (3) 民間企業との連携

民間の施設やスポーツクラブと施設の利用について、連携を図りながら事業を推進します。

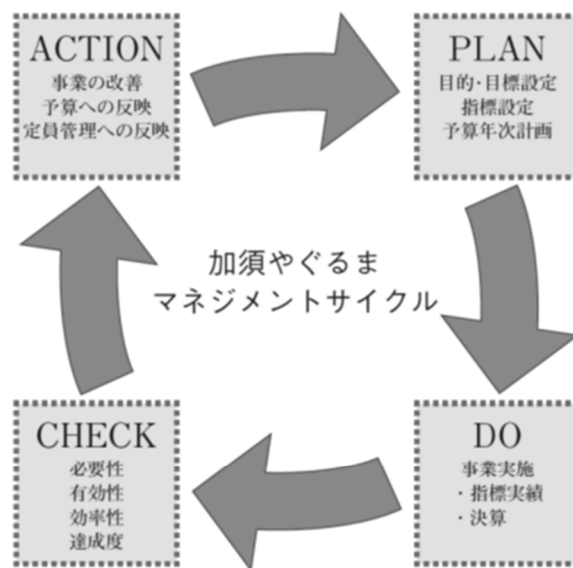
#### (4) 全庁的な推進

子どもから高齢者までの市民の生涯スポーツ活動の推進を行うため、関係部課と連携・調整を図りながら、総合的な取り組みを行い、効果的に事業を推進します。

### 2 計画の進行管理及び見直し

本計画の進行管理は、本市で実施している「加須やぐるまマネジメントサイクル」の手法により、事業の進捗状況についてPDCA（計画・実行・評価・見直し）を行います。

また、加須市スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況の検証を行い、その結果を踏まえ、事業の進め方を毎年度検証します。







# 資 料 編

## 1 第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画策定の経過

年月日	項目	内容等
令和元年11月7日～ 11月30日	アンケート調査の 実施	市民（18歳以上） 1,000件 障がい者手帳をお持ちの方 50件 小学生 605件 中学生 263件 高校生 70件 スポーツ団体等 302件
令和2年7月27日	加須市スポーツ推 進審議会	次期加須市スポーツ推進計画の策定について（意 見聴取）
令和2年10月21日	加須市教育委員会	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画の骨子（案）について
令和2年10月30日	加須市スポーツ推 進審議会	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画の骨子（案）について
令和2年11月13日	加須市教育委員会	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画（素案）について
令和2年12月11日	政策会議	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画（素案）について
令和2年12月16日	加須市スポーツ推 進審議会	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画（素案）について
令和2年12月18日	加須市教育委員会	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画（素案）について
令和2年12月19日 ～12月27日	パブリックコメン ト	市民からの意見募集
令和3年2月2日	加須市スポーツ推 進審議会	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画（案）について
令和3年2月17日	加須市教員委員会	第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計 画について

## 2 加須市スポーツ推進審議会

### (1) 加須市スポーツ推進審議会条例

平成22年3月23日

条例第98号

改正 平成23年2月28日条例第2号

平成23年9月14日条例第17号

(題名改称)

平成31年2月22日条例第1号

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定に基づき、加須市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(平成23条例17・一部改正)

(任務)

第2条 審議会は、法第31条及び第35条に規定するもののほか、加須市教育委員会(以下「教育委員会」という。)又は加須市長(以下「市長」という。)の諮問に応じて、スポーツの振興に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会又は市長に建議する。

- (1) スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- (2) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (3) スポーツの指導員の養成及びその資質の向上に関すること。
- (4) スポーツの団体の育成に関すること。
- (5) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (6) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの振興に関すること。

(平成23条例17・一部改正)

(組織)

第3条 審議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が、市長の意見を聴いて任命する。

- (1) 市内の公共的団体等の代表者
- (2) 知識経験を有する者
- (3) 市の職員

(平成31条例1・一部改正)

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
  - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- (会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことはできない。
- 3 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- 4 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 審議会が特に必要があると認めるときは、会長は、適当と認める者に対し、出席説明及び資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、教育委員会生涯学習部スポーツ振興課において処理する。

(平成23条例2・一部改正)

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成22年3月23日から施行する。

附 則 (平成23年条例第2号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年条例第17号) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成31年条例第1号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年5月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日前にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定により委嘱され、又は任命された審議会等の委員（市議会の議員の身分を有していた者（第19条の規定による改正前の加須市都市計画審議会条例第2条第2項の規定により委嘱された者を除く。）を除く。）は、この条例による改正後のそれぞれの条例の規定により委嘱され、又は任命された審議会等の委員とみなす。

(2) 加須市スポーツ推進審議会委員名簿

◎ : 会長    ○ : 副会長

氏 名	所 属 機 関 団 体 等	選 出 区 分
◎市 川 邦 夫	加須市スポーツ協会会長	市内の公共的団体等の 代表者 (8名)
○秋 葉 正 之	加須市スポーツ推進委員協議会会長	
折 原 登	騎西地域スポーツ協会会長	
関 原 紀 子	北川辺地域スポーツ協会副会長	
柳 肇	加須市レクリエーション協会会長	
藤 原 豊	加須市スポーツ少年団本部長	
長 浜 美 根 子	かぞ地域女性会連合会会長	
塚 本 直 樹	加須市中学校体育連盟会長	
村 田 芳 子	平成国際大学教授	知識経験を有する者 (6名)
加 藤 智 子	早稲田大学講師	
古 峰 孝	元加須市体育協会会長	
黒 川 正 男	元教員	
大 塚 八 重 子	加須市交通安全母の会会長	
島 田 淳 一	埼玉県立騎西特別支援学校教頭	
萩 原 利 一	加須市健康医療部長	市の職員 (1名)

## 第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画

令和3年2月発行

発行 加須市教育委員会

編集 加須市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課

〒347-0007 加須市下三俣590番地

電話 0480-62-6123